

**令和5年度
こども園評価結果報告書**

**令和6年3月
恵那市教育委員会 幼児教育課**

目 次

1. こども園評価について	1
2. 保育教諭自己評価	
(1) 評価指標	2
(2) 全こども園 集計表	3
3. こども園関係者等(保護者)評価	
(1) 評価指標	4
(2) 市全体集計表	5
(3) こども園評価(保護者評価) 考察と改善策	6
(4) 保護者自由意見	9
(5) こども園別集計表・評価結果報告書	17

1 こども園評価の目的

- こども園の教育及び保育活動、その他のこども園運営について、目指すべき目標を設定し、その達成状況や達成に向けた取り組みの適切さ等について評価することにより、こども園として組織的・継続的な改善を図る。
- こども園が、自己評価および保護者など、こども園関係者等による評価の実施とその結果の公表・説明により、適切に説明責任を果たすとともに、保護者、地域住民等から理解と参画を得て、学校・家庭・地域の連携協力によるこども園づくりを進める。
- こども園の設置者等が、結果に応じてこども園に対する支援や条件整備等の改善措置を講じることにより、一定水準の教育の質を保証し、その向上を図る。

2 自己評価及びこども園関係者（保護者）の評価実施方法

（1）自己評価の実施

1月に自己評価を実施し、評価結果からこども園の目標について、その達成状況及び取り組みの適切さ等を分析する。

（2）こども園関係者評価（保護者アンケート）の実施

12月にこども園関係者評価を実施し、評価の結果から今後のこども園運営の改善に向けた取り組みについて分析する。

（3）報告書の作成

上記のこども園評価の分析結果を踏まえ、成果や課題を整理して、次年度のこども園目標および重点的に取り組む内容等を設定する。今後の改善方策等について記述し、教育委員会へ報告書を提出する。

3 自己評価及びこども園関係者評価（保護者）の評価結果の公表

- 各こども園は、自己評価およびこども園関係者評価の結果とそれを踏まえた今後の改善方策を、こども園だよりや保護者会等を活用して、保護者に公表・説明する。保護者アンケートの内容によっては、保護者との懇談を実施する。
- 教育委員会は、評価結果を恵那市のwebサイトおよび恵那市スクールネットワークで公表する。

4 改善の実施

- 4月より設定した、こども園目標や重点を十分考慮した教育・保育を行う。

《令和5年度恵那市立こども園・保育教諭自己評価指標》

正職・会計年度任用職員用

1 園経営等について

※評価の段階 4：とてもそう思う 3：ややそう思う 2：あまり思わない 1：まったく思わない

No.	評価の観点	内 容	評 価			
1	教 育 方 針	教育目標や園経営方針を意識して、教育活動に反映させている。	4	3	2	1
2	組 織 運 営	園の方針に基づき、仕事の分掌に使命感と倫理観をもち、自分の特性を生かして指導にあたっている。	4	3	2	1
3	指 導 の 工夫・改善	園児が主体的な遊び（遊びたくなる・話を聞きたくなる・話したくなる等）や体験的な活動をするために、反省や評価をもとに環境構成や指導方法を工夫・改善を行っている。	4	3	2	1
4	施設・設備の 安 全 管 理	定期的に点検活動を行い、迅速に報告または処理して、危機意識をもって園舎内外の安全管理に努めている。	4	3	2	1

2 環境を通して行う教育及び保育(指導力)について

No.	評価の観点	内 容	評 価			
1	遊びの指導	幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づき、5領域のねらいや発達の課題を明確にして、意図的・計画的に指導している。	4	3	2	1
2	自己肯定感を 育む指導	一人一人の園児の気持ちを受容し、共感しながら応答的にふれあう等、安心感や自信をもたせる援助をしている。	4	3	2	1
3	発達の特性に 応じた指導	個別の教育支援計画を活用し、関係職員と共通理解し合って、個に応じてより適切な支援を行っている。	4	3	2	1
4	社会性の育成	人と関わる楽しさを味わい、自分の思いを伝え合う活動を工夫している。	4	3	2	1
5	「あいさつ」の 指導	基本的な生活習慣（あいさつを交わすこと等）の自立を図るための指導をしている。	4	3	2	1
6	「読書活動」の 指導	「読み聞かせ」等、本の話の内容や言葉の楽しさを味わい、友だちと共有する活動を工夫し位置付けている。	4	3	2	1
7	「英語あそび」 の指導	ALTと一緒に、楽しみながら英語に親しむ活動を行っている。	4	3	2	1
8	「特色ある 園活動」の指導	主体的に（遊びたくなる・話を聞きたくなる・話したくなる等）人・自然・ものに関わる場を設定し、充実感や満足感を得ることができる遊びや体験活動、環境構成を工夫している。	4	3	2	1

3 地域等との連携について

No.	評価の観点	内 容	評 価			
1	保護者との 連携	園だよりやすぐる、ホームページを通して家庭に情報提供するとともに、必要に応じて保護者から相談を受けたり、意見や要望を取り入れたりすることができている。	4	3	2	1
2	地域との 連携	地域の活動に協力的であり、必要に応じて地域の意見や要望を取り入れている。	4	3	2	1
3	小学校との 連携	小学校との連携を継続し、接続期カリキュラムやチャレンジ7等を活用し、発達段階に応じて教育・保育活動に生かしている。	4	3	2	1

4 今年度効果の上がった内容・自由意見

--

全こども園 <<令和5年度 こども園自己評価 集計結果>>

4：とても思う
 3：やや思う
 2：あまり思わない
 1：まったく思わない
 0：無回答・他

1 園経営等について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	教育方針	3.39	40.2% 58.7% 1.1%
2	組織運営	3.38	38.7% 60.2% 1.1%
3	指導の工夫・改善	3.34	35.8% 62.6% 1.7%
4	施設・設備の安全管理	3.54	54.8% 44.1% 1.1%

2 環境を通して行う教育及び保育(指導力)について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	遊びの指導	3.36	38.6% 58.7% 2.7%
2	自己肯定感を育む指導 ※成果	3.55	55.9% 43.6%
3	発達の特性に応じた指導	3.51	52.0% 46.9% 1.1%
4	社会性の育成	3.47	47.4% 52.0% 0.6%
5	「あいさつ」の指導	3.54	55.4% 43.4% 1.1%
6	「読書活動」の指導	3.49	51.4% 45.9% 2.8%
7	「英語あそび」の指導	3.43	48.3% 46.0% 5.7% 1.6%
8	「特色ある園活動」の指導	3.37	40.9% 55.3% 3.9%

3 地域等との連携について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	保護者との連携	3.42	46.4% 49.2% 4.4%
2	地域との連携	3.28	39.6% 49.2% 10.7% 0.5%
3	小学校との連携 ※課題	3.25	37.1% 50.9% 12.0% 2.2%

前年度よりアップ

前年度との比較	
肯定的な評価(%)	
R4	R5
99	98.9
97.4	98.9
96.3	98.4
98.9	98.9
94.7	97.3
97.9	99.5
96.2	98.9
97.9	99.4
98.9	98.8
97.9	97.3
95.7	94.3
98.8	96.2
95.6	95.6
88.8	88.8
88	88

成果

◎【2環境を通して行う教育及び保育(指導力)】2 自己肯定感を育む指導

遊びなどを通して「できた・分かった・頑張れた」と言葉で言えたり、表情で表したりする園児の姿が増えた。
保育者の一人一人を大切にする指導・支援の成果だと考える。

課題

△【3地域との連携】3 学校との連携

交流活動を工夫し、実施しているが園と小学校の交流計画や、事後報告について全職員と共有できていたかが課題だと考える。

《令和5年度恵那市立こども園 保護者評価指標》

1 園経営等について

※評価の段階 4 : とてもそう思う 3 : ややそう思う 2 : あまり思わない 1 : まったく思わない

No.	内 容	評 価			
1	園は、教育目標や教育・保育内容がよくわかるように情報提供をしている。	4	3	2	1
2	園の施設・設備は整備され、子どもが生活しやすい環境になっている。	4	3	2	1

2 教育及び保育について

No.	内 容	評 価			
1	お子さんは、毎日園に行くことを楽しみにしている。	4	3	2	1
2	お子さんは、園の生活を通して成長している。	4	3	2	1
3	園は、一人一人の子どもをよく理解し、誠実に対応している。	4	3	2	1
4	お子さんの気持ちや様子、子育てなどについて園と情報交換したり、相談したりできる。	4	3	2	1
5	園は、「あいさつ」をかわす心地よさと大切さを意識している。	4	3	2	1
6	園は、絵本を中心に、読み聞かせ等「読書活動」が充実している。	4	3	2	1
7	園は、ALT と一緒に、楽しみながら英語に親しむ活動を行っている。	4	3	2	1
8	園は、子ども達の発達に即した日常の教育・保育で「特色ある教育・保育」を行っている。(園テーマ)	4	3	2	1

3 地域等との連携について

No.	内 容	評 価			
1	園は、園だよりやキッズビュー、ホームページ等を通し、園の情報を適宜提供している。	4	3	2	1
2	園は、地域・小学校と連携し教育・保育を進めている。	4	3	2	1

4 こども園制度について

No.	内 容	評 価			
1	園児の登園・降園を確実に把握するために ICT によるシステムを導入したことは望ましい。	4	3	2	1

5 自由意見

全こども園<<令和5年度 こども園保護者 集計結果>>

4:とてもそう思う
 3:ややそう思う
 2:あまり思わない
 1:まったく思わない
 0: 無回答・その他

1 園経営等について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	園は、教育目標や教育・保育内容がよくわかるように情報提供をしている。	3.62	64.1% 33.9% 2.0%
2	園の施設・設備は整備され、子どもが生活しやすい環境になっている。	3.58	61.1% 35.8% 3.2%

2 教育及び保育について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	お子さんは、毎日園に行くことを楽しみにしている。	3.58	62.6% 32.8% 4.1%
2	お子さんは、園の生活を通して成長している。	3.85	85.2% 14.5% 0.3%
3	園は、一人一人の子どもをよく理解し、誠実に対応している。	3.68	70.0% 28.2% 1.8%
4	お子さんの気持ちや様子、子育てなどについて園等と情報交換したり、相談したりできる。	3.59	63.5% 32.3% 3.9%
5	園は、「あいさつ」をかわす心地よさと大切さを意識している。	3.66	69.2% 27.8% 2.7%
6	園は、絵本を中心に、読み聞かせ等「読書活動」が充実している。	3.66	67.2% 31.1% 1.7%
7	園は、ALTと一緒に、楽しみながら「英語に親しむ活動」を行っている。	3.66	68.4% 29.7% 1.7%
8	園は、子ども達の発達に即した日常の教育・保育で「特色ある教育・保育」を行っている。	3.58	61.4% 35.7% 2.7%

3 地域等との連携について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	園は、園だよりやすぐる、ホームページ等を通し、園の情報を適宜提供している。	3.63	65.3% 32.3% 2.3%
2	園は、地域・小学校と連携し教育・保育を進めている。	3.49	53.7% 41.4% 4.9%

4 こども園制度について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	園児の登園・降園を確実に把握するために、ICTによるシステムを導入したことは望ましい。	3.46	54.4% 38.0% 7.2%

前年度よりアップ

前年度との比較	
肯定的な評価（％）	
R 4	R 5
96.4	98
96.6	96.9
94.8	95.4
99.6	99.7
98.3	98.2
94.8	95.8
95.8	97
96.8	98.3
97.1	98.1
96.7	97.1
95.7	97.6
91.4	95.1
	92.4

成果

◎総体的に評価が高い。保護者評価自由意見をみても、園の教育・保育は好意的に受け止められている。

◎【2教育及び保育】2 お子さんは、園の生活を通して成長している

・願う子どもの姿を明確にもち、教育・保育を行っている成果が出ている。保護者評価自由意見には、日々の園児の様子や、家庭での会話からできるようになったことが明確で、成長を感じているという思いが書かれていたことから、生活の中で園児が育っていることを感じた。

課題

△【3地域等との連携】3 地域・小学校と連携し教育・保育を進めている

・園が地域や小学校とどのようにつながっているのかを、保護者に情報提供する方法を工夫し、交流のねらいや様子、園児の感想などを紹介できるとよい。

こども園評価（保護者評価）についての考察と改善点

考察（・）及び課題（◆）

（全こども園保護者集計結果「とてもそう思う」「ややそう思う」の数値を参考にしている）

1 経営等について

（1）教育目標や教育・保育内容がよくわかるように情報共有をしている。

- ・数値的には昨年度より高い、活動や行事なども昨年度より保護者が参加できるものが増えて、園での子どもの姿を見たことが評価にもつながっている。

◆園の方針に保護者が理解を示しているとい評価をしている園もあり、情報提供の仕方を工夫し、保護者の理解を高めたい。

（2）園の施設・設備は整備され、子どもが生活しやすい環境になっている。

- ・本年度行ってきた様々な整備に対して保護者からの評価を得ることができた。水はけの悪い園庭の改修に対しては、雨上がりや雪が解けた日でも園庭で泥を気にせず思いきり遊べると具体的な評価をいただいた。

◆一方、保護者目線での修繕要望があり、来年度も園児の安心・安全を最優先に考え、保護者意見を参考に修繕を進める。

2 教育及び保育について

（1）毎日園に行くのを楽しみにしている。

- ・昨年度の評価より向上している。楽しかった遊びなどを保護者に伝えている園児も多く、園児にとって園生活が充実したものになっている。また、保育者の笑顔や接し方も園児が安心して登園できる要因である。

（2）園の生活を通して成長している。

- ・遊びや行事を通して園児が楽しい、できた、分かったなどを実感していることを保護者が園児の姿や行動や会話などから実感していることが自由意見から感じとれた。各園は、こども園において育みたい資質・能力（知識及び技能の基礎/思考力、判断力、表現力等の基礎/学びに向かう力、人間性等）を踏まえ、指導計画を作成し実践している。来年度も遊びのねらいを明確にした教育・保育実践に邁進してほしい。

（3）一人一人の子どもをよく理解し、誠実に対応している。

- ・一人一人に寄り添い、子どもの個性や特性を理解して対応している。自由記述でも好意的な意見が多い。

◆先生によってという保護者意見があることを真摯に受け止めて対応をしたい。

(4) 子どもの気持ちや様子、子育てなどについて園と情報交換をしたり、相談したりできる。

- ・降園時間に複数の保護者に対応しなければならないこともあるが、対応時間を短くするなどしてなるべく保護者と関わるようにしたり、サポートブック面談など時間をかけなければならない時は具体的に説明をしたりして丁寧に対応をしている。

◆情報共有の方法は直接話す、電話で話す、紙面で伝えるなど様々あるが、時と場合によって使い分けたい。園児のけが、トラブル、指導事項などを伝える場合は、直接話そうにすると相手の表情や考えが分かるので言葉を選ぶことや内容を変更することができる。事案によって方法を選択したい。

(4) 園は、「あいさつ」をかわす心地よさと大切さを意識している。

- ・保育者が笑顔で、優しい声色や元気な声であいさつをしている。あいさつをかわす心地よさについて体現していることが評価の高い理由であると考ええる。

◆職員間で共通行動として捉え、日々、あいさつをかわす環境を作り出してほしい。

(6) 絵本を中心に、読み聞かせ等「読書活動」が充実している。

- ・読書活動への理解がとても高い。週に複数回の絵本の貸し出しや、読み聞かせを行っている成果だと考える。読書通信を作成している園もあり、おすすめの本や絵本の選び方などの情報も保護者に伝えていることが保護者に支持されている。

◆蔵書数をしりたい、古い本があるというような意見もある。毎年絵本を購入しているので、そうした情報も保護者に周知する。蔵書数については調査したいと考えている。

(7) ALTと一緒に、楽しみながら英語に親しむ活動を行っている。

- ・園児が英語遊びで覚えた単語を家庭で使ったり、楽しさを話したりしていることから評価が高い。次年度もALT2名体制で英語あそびを推進する。

◆英語遊びの様子などをできるだけ情報提供する。

(8) 子ども達の発達に即した日常の教育・保育で特色ある教育・保育を行っている。

- ・昨年度より評価が高いことから、園が取り組んでいる活動について理解があると考ええる。

◆園の特色について活動や遊びなど引き続き、情報発信する。

3 地域との連携について

(1) 園だよりやキッズビュー、ホームページ等を通し、園の情報を適宜提供している。

- ・ホームページなどを活用し、園児の様子を紹介することをこまめに行っていることが評価されている。

今後

- ・キッズビューで身体測定の結果などを情報発信（個人へ）する。
- ・園の通信などキッズビューのPDFで配信できるよう推進する。
- ・一部園で、SNSへの投稿についての保護者意見がある。情報モラルについて保護者も参加できるよう計画したい。

(2) 地域・小学校と連携し教育・保育を行っている。

- ・各園では小学校と交流活動などの計画を立て実施しています。活動後には、できるだけ保護者への情報提供を行うようにする。

4 令和5年度より導入した機能について

(1) 園児の登園・降園を確実に把握するために、ICTによるシステムを導入したことは望ましい。

- ・登降園システムについては様々な意見があり、特に不具合や心配な点について改善できる点についてはしていきたいと考えている。

◇その他の意見について（主に要望）

給食などについて

- ・主食（ごはん）の持参については、給食委員会、園長研修会などで検討しました。設備の面で難しい園もあり、主食の提供については結論が出ていない状況である。
- ・今後もおいしい給食の提供ができるよう努める。

アンケート方法について

- ・アンケート方法については、スマホなどで回答できるよう検討したい
- ・記名ありについては、様々なご意見をいただく中、園では個人的に回答させていただく場合もあるかと考えます。記名ありでご回答いただくことは、意見の重みやよりよいものにしていきたいという熱意を感じます。このままの方法を継続したい。

幼児コースについて

- ・幼児コースの時間延長については検討中である。

R 5 年度保護者評価自由意見

・よかったこと △ご意見等 →幼児教育課回答

1 園経営等について

(1) 教育目標や教育・保育内容がよくわかるように情報共有をしている。

- ・日頃先生方は保育の中で子どもの思いを引き出し、それを保育に繋げ子どもの主体性を大切にしてくださっているので、さすがだなと思います。
- ・今年は、保育活動に性教育を取り入れていただいたり、ALT活動を増やしていただいたり、親の意見を反映してもらい、とても感謝しています。

(2) 園の施設・設備は整備され、子どもが生活しやすい環境になっている。

- ・テラスに日除けの屋根（雨よけも）を付けてくださったり、園庭の雨対策をしてくださったりと送迎もしやすくなりました。
- ・今年は園庭の整備やオーニングの設置、門ができたり、遊具が新しくなったりと、子ども達が生活しやすいように環境を整えていただきました。
- ・今年は園庭がきれいに整備されたので、雨上がりや雪が解けた日でも園庭で泥を気にせず思いきり遊べると思います。

△園の入り口の門が誰でも入ってきてしまうので、不審者等が入ってきたり、子どもが出て行ったりしてしまわないかがとても心配です。セキュリティの強化をお願いしたいです。

△1 階のテラスの所を通ると、靴下がきたなくなってしまうので、マットかなにか敷いてほしいです。

△1 階の廊下を直して欲しい。上の子の時からですが、雨の日靴を脱ぐ所もない、横殴りの雨だと降り込んでいてとても不便だなと感じます。

△園の登園・降園の扉を保護者が送迎した後、鍵をロックできるようにしてほしい。

△出入口の門が開閉しづらい事（カギの開け閉めの時）が改善されるといいかなと思います。

△1 つ気になっているのは建物自体が古そうなので、その点で子どもたちが生活しやすい環境かというのは思いました。しかし設備は新しくなっているものや、きれいにもされているのでそこまでは気になりませんが。

△もう少し遊具があると子どもたちが楽しく過ごせると思う。

2 教育及び保育について

(1) 毎日園に行くのを楽しみにしている。

- ・子どもがのびのびと、園楽しい！もっとおりたい！と思えることは本当に素晴らしいことだと思います。
- ・上の子もそうでしたが、長く休んでも休み明け「行きたくないなあ」とならず楽しそうに登園します。先生やお友達のおかげで本当に楽しく園での生活が送れています。
- ・日によって、バスから降りてくる様子で「どうかしたの？」と聞くと、園で悲しいことがあったとか、たくさんの事を経験してくれています。それでも翌日には元気に登園してくれるので、園が大好きなのだと実感します。
- ・年中から入園し、園がとても楽しい場所になっている。去年訪問していた時には見られない動

きもあり、子どもの成長とつながっている。友だちもたくさんでき、障がいがあっても受け入れてもらって大変嬉しく思う。

- ・息子も毎日「楽しかった」「今日はこれしたよ」「この歌うたうよ」と教えてくれて楽しく行けているようで安心している。

(2) 園の生活を通して成長している。

- ・親子共に毎日楽しく登園させてもらっています。園で飾ってある子どもたちの作品を見ながら、手先の器用さも上達してきていると感じました。
- ・子どもは少し神経質なところがあり、何でも自分でやらないと気が済まないのですが、気長に待ってくれたり、本人のペースに合わせて行動してくれたりしてよい所が伸びてきているように感じます。
- ・「自分の事は自分で」「考えてやってみる」「友達を思いやる」これらが園に通う中で身について来ていると感じます。
- ・劇や歌舞伎が子どもなりにしっかり出来ており、成長を感じました。
- ・こども園に入園してから、食に対する意識が驚くほど変わり、苦手な食べ物も少しずつですが頑張って食べられるようになりました。
- ・色々な活動を通して子どもの成長を感じることが出来ます。年長になり、下の子の面倒をみることによってより大きくなったなと思います。
- ・こども園で色々な事を吸収して日々とても成長したなと感じます。園に通う様になって体力もすごくなったなと思います。
- ・日々子ども達がこども園に行く事を楽しみにしています。自宅に帰ってきては「〇〇してきたよ～」とか「〇〇先生と遊んできた」と笑って教えてくれます。
- ・園での生活を通して、お友達との関わり方や言葉も少しずつ増えてきました。娘の成長はゆっくりですが、先生方が向き合ってくださっているの、朝は泣きますが帰りはニコニコ笑顔で帰ってくるので、言葉で伝えられない娘ですが楽しかったことは伝わってきます。

(3) 一人一人の子どもをよく理解し、誠実に対応している。

- ・以前、お友達とちょっとしたトラブルになった際、担任の先生に相談したところ、すぐに対応して頂き、とても助かりました。担任の先生以外の先生方にもよくしていただいています。
- ・毎日、子どもが行きたい、楽しみと言っています。子どもの発達のことや不安などを話すとみなさん一緒に考えてくれてわからないことをわかりやすく教えてくれてすごく助かります。
- ・今年度、保護者会の会長を務めてわかった事として、先生方がそれぞれの事に対して、真摯に向き合っている事が多くあり、頭が下がりました。

(4) 子どもの気持ちや様子、子育てなどについて園と情報交換をしたり、相談したりできる。

- ・園と家での生活で連携して一緒にやっていまいしょうと子どもの事を見てください、情報提供して下さるのでありがたいです。
- ・担任の先生が子どもだけでなく、母親の私の相談にもものってくれてとても助けられています。
- ・毎日こども園に行く事を楽しみにしています。一人ひとりの先生がそれぞれに子どもの事をきめ細やかに見て頂き、大変ありがたいです。子どもの新しい発見（家では見せない姿）ができ

嬉しいです。アドバイスもいただき、子育てに自信がない事もありますが、またがんばろうという気持ちになれます。

- ・人数が少ないという事もありますが、一人ひとりよくみていただいております。「〇〇ができるようになった」「〇〇が食べられるようになった」などよく帳面に記入していただき、ありがたいです。
- ・早朝から遅くまで保育していただけてとても感謝しております。担任の先生はもちろんの事、担任でない先生も子どもの事を良く理解してくださり、声を掛けていただけて嬉しいです。

(5) 園は、「あいさつ」をかわす心地よさと大切さを意識している。

- ・毎朝登園すると優しくあいさつをしてくれて声をかけていただけて迎えていただいております。
- ・いつ園に行ってもどの先生方も大きな声であいさつして下さいます。また未就園の弟妹にも名前を呼んで声掛けして下さいます。本当に嬉しいことです。園に通う子たちは尚のこと大切にされていることが伺えます。また、先生方の姿をもって子どもたちは挨拶の大切さを実感することができているように思います。
- ・担任の先生はもちろんですが、他の先生方も朝登園すると、「〇〇ちゃんおはよう！」と声を掛けてくれるのが嬉しいです。
- ・毎朝登園すると優しくあいさつをしてくれて声をかけていただけて迎えていただいております。
- ・いつも先生方は元気に迎え入れてくれ、ちょっと子どもの気が乗らない日も、家でケンカして登園しても、親も子も園で先生に「おはよー！！」と言われたら元気になります。

△「あいさつ」を交わす心地よさ～という項目について、園で会った先生に挨拶をした時にほとんどの方は笑顔で元気に挨拶を返してくれるのですが、時々そうでない方もいらっしゃる、気になります。

△朝申し送り等もあると思いますが、朝先生たちがかたまっていて、登園してもでてきてくれない事があって、もう少し受け入れを気持ちよくなると良いかなと思います。あいさつとかを大切にしているので、子どもが来た時は顔を見てあいさつして、受け入れてもらえると安心できるので。

(6) 絵本を中心に、読み聞かせ等「読書活動」が充実している。

- ・絵本を読むだけではなく、その世界を運動会の競技や劇発表、日常の遊びの中に取り入れた活動をしてくださり、子どもが絵本の世界を深く楽しめているように思います。毎日借りてくる絵本も、最初は「毎日読み聞かせなくちゃいけないで大変だな」なんて思ってしまっておりましたが、今では寝る前の習慣として絵本が生活の一部になっており、とてもありがたいなと思っています。
- ・絵本の貸し出しが毎日あるので、子どもはとても喜んでいきます。転園前の園では週2回の貸し出しだったので、この機会に読書の習慣づけをしていけると嬉しいです。
- ・園で本を借りてくるのはとても良い習慣。

△気に入った本を何回も借りてくるが、園の蔵書が何冊か知りたい。

△活動は充実していると思います！本の古さ、破れが気になりました。

(7) A L Tと一緒に、楽しみながら英語に親しむ活動を行っている。

- ・ A L Tの時間が増えたのは良かった。家に帰ってきても「頭はヘッドだよ」と言っていた。歌とかで英語の歌を普段から取り入れてもっと身近に感じて欲しい。
- ・ A L T活動についても同様で「バナナはBanana って言うんだよ！」とか「Thank you って言ったよ」と教えてくれます。上の子の時よりA L Tの話題が出て来るので、活動内容も以前より充実しているように思います。
- ・ A L Tの活動も参観日で一緒に体験させていただきました。とても楽しく英語にふれることが出来、これからももっと増やしていただきたいなと感じました。

△A L Tの活動はありがたいが、どんな内容だったのか毎回情報が共有できるより良いと思う。

△A L Tの日数がもっと増えると良い。

(8) 子ども達の発達に即した日常の教育・保育で特色ある教育・保育を行っている。

- ・ 日頃から野菜を育てることや（食育）、散歩、自然とのふれあい、バス・電車を利用しての園外保育など・・・本当に様々な経験ができるように工夫してくださっていて感謝しています。
- ・ 昨年から行っている他園とのドッチボール対決はすごく良い事だと思います。今年は他の園へ行くまでに JR など電車にも乗れてとても良い経験が出来ているし、他の園との交流もできて子供たちにも良い刺激になっていると思います。
- ・ 野菜を育てて食べたり、親子でカヌーの体験ができたり、安全を考えながらいろんなことが体験でき、子供も楽しめ、親としても話を聞くのが楽しみでした。
- ・ 乗り物だけでなく、クッキングや木育、やきいもとたくさんの経験を通して、生きていくうえで知恵となる体験もできて感謝しています。
- ・ 以上児3名という少人数の中、担任の先生が工夫をして異年齢のクラスを取りまとめてくださいました。一人ひとりに対応した活動を年齢別だけではなく、発達の状態に合わせて下さり、子ども達の成長を感じています。

3 地域との連携について

(1) 園だよりやキッズビュー、ホームページ等を通し、園の情報を適宜提供している。

- ・ いつも見られるわけではないですが、時々見てみると園での活動が即時的にわかるようになっているので驚かされます。子どもの話でわからなかったことが、ホームページを見て理解できることがよくあります。お忙しい中で、各クラス通信もそうですが、時機を逃さず配信してくださるので家での話題にしたり、褒める材料になったりして、とてもありがたいです。
- ・ 今日何をしていたのか聞けない日などもありましたが、こまめにホームページで確認ができました。
- ・ 園だよりやホームページで子どもがどんなことをしているのかがよくわかるので、とてもうれしいです。

園のホームページ、毎回楽しみにしています。動画もあり、嬉しく思います。

- ・ キッズビューでの欠席連絡や身体測定の結果が見えて良いと思います。
- ・ キッズビューでのお知らせなども個人的には使いやすいのでありがたいです。
- ・ キッズビューが少しずつ活用され、プリントが減るのはとてもありがたいです。

△同市内の別のこども園に通っている知り合いから、園の通信がキッズビューのPDFで配信されるためカラーで見ることができ、祖父母にも共有できてよいと聞きました。いつも通信は楽

しみにしているのですが、写真が白黒で自分の子がどこにいるか分からなくて残念に思っていたので、ぜひ自園でもやっていただけないかなと思いました。

△先生方も声かけしてくれてはいますが、行事の様子をSNSに写真をあげている方がいます（顔をかくしたりぼかしたりすることがない）。SNSへの価値観は人それぞれなので、気にしない方もいるとは思いますが、保護者へのSNSの写真をあげないことを徹底してほしいと思います。

△ICT活用していくことはうれしい反面、個人情報等気を付けなければいけないことも多い。HP、写真も顔がはっきりとわかるものなどは避け。分かる人（知っている人）ならわかる程度にしていただけると助かる。カメラで写真を撮り慣れている子どもたちだけけれどデジタルタトゥーを残さないよう気を付けたい。

（２）地域・小学校と連携し教育・保育を行っている。

- ・地域や小学校との交流も多く、良好な関係性がある。
- ・地域の方や、小学校とも関われる工夫など、いろいろと計画してくださり、ありがとうございます。子どもを通して知ることもあり、わたしたち親もうれしく思っています。小さな子ども園ならではの年齢をこえた関わりが、どの年齢の子にとっても学びにつながっているように思います。

△地域とはのれんコンテストに参加してかかわっていると思う。小学校とは全くかかわっていないように思う。

△地域の小学校と関わる行事があると、小学校への興味がもう少し強くなるかなと思いました。年長になった時にそのような機会があると良いと思います。

４ 令和５年度より導入した機能について

（１）園児の登園・降園を確実に把握するために、ICTによるシステムを導入したことは望ましい。

- ・キッズビューの導入は、とてもよかったと思います。お知らせもリアルタイムで知ることができるので、とても便利です。
- ・登降園システムは、導入時特に意義を感じてはいませんでしたが、父母で登降園状況を共有できて便利だなと感じています。９月より私も仕事復帰し、早番遅番帯での送迎で、以前より直接的に園での様子を見られなくなりましたが、キッズビューで送られてくる通信や先生方から様子もうかがえるので、間接的に息子の様子が把握でき、毎日安心して送り届けさせてもらえています。
- ・休む時に電話をせず、スマホでシステムに入力して休むことができるのでよいと思います。お休み電話は、時間によってつながらないことがあったので、とても助かっています。
- ・登園降園を確認するためのキッズビューですが、最初、面倒くさいなと感じていましたが、自分が仕事で送迎できず祖母などをお願いした時でもちゃんと登園したことが確認できるのでとてもよいと思いました。
- ・今年度からキッズビューが導入され、しっかり登園、降園がわかるようになったのはよかったと思います。
- ・キッズビューの出欠入力の備考に入力した内容が後から見返せると受診時などに確認出来てよ

と思います。身体測定の結果がキッズビューで見られるようになり嬉しいです。カウプ指数も見えるのでSDスコア値（低身長かどうか）も見えるとありがたいです

- ・キッズビューの導入は出欠などの方法などとても便利になり助かっています。
- ・キッズビューでの欠席連絡や身体測定の結果が見えてよいと思います。

△登降園は目視で確認すべき。機会にたよると、思いもよらないミスや事故につながることも。人と人との関わり合いも大事。ダブルチェックで防ぐべき。よって、導入は意味をなさず、システム費と負担が増えただけと感じる。

△両親以外の祖父母がお迎えに行く場合、口答で先生に朝伝えないといけないのは忘れてしまうこともあるし、急な変更もあるので困りました。家族で2つQRコードがもらえるので、持参していればOKということにしてほしいです。

△キッズビューで登園管理をするようになり、両親が迎えに行けない時（仕事で遅くなる時）祖父母に簡単をお願いすることができなくなってしまったのが残念です。

△仕事の都合で、朝、誰が迎えに動けるかわからないことは多々あります。子供の気持ちを考えても早くおじいちゃん、おばあちゃんが来てくれた方が嬉しいこともあるかと思います。

△防犯上で決まったこととは思いますが、本当に必要なところだけにルールを作してほしいです。

△ICTシステムで登園、降園の管理をしていますが、降園時は子どもに会う前にQRコードの読み取りをしているのが少し気になります。確実に一緒に帰るとは思いますが、園から子どもの引き渡しが終わった後にQRコードの読み取りをした方が良いかなと思いました。

△急にICT化が進み戸惑っています。キッズビューでの登降園チェックも親からしたら、面倒なことが増えただけです。お便りも紙のものとキッズビューのものと混在していてわかりにくいです。どちらか一方にするか、お便りの種類によって分けるかももう少し配慮してほしいです。また、キッズビューにお知らせが届いているかがキッズビューを開かないとわかりません。どうやったら通知が来るように設定するのかもわかりません。すぐーるはそんな設定なしでもはじめから通知が来ました。何もわからない人ベースで細かい設定まで教えていただきたいかったです。

△ICTについて、キッズビューの登降園確認ですが、夏場は毎日登園時間を確認するようにしていましたが、実際の登園時刻と、キッズビュー上で時間が反映してくるのに長い時だと1時間ぐらいタイムラグがありました。システム上、仕方のない事なののでしょうか？バスに園児が置き去りにされてしまう事件があり、そういった事を防止する意味でも、親側がチェックする事は必要だと思って、毎日バスが到着する頃にキッズビューを開いていましたが、タイムラグが生じていることで、かえって心配になりました。夏に関しては、リアルタイムでないこのシステムの意味がなくなってしまうのではないかと、気になりました。

△「キッズビュー」の導入はいいのですが、アイコンに通知件数が出ず、お知らせが届いている事に気付かない事が多いです。アイコンはアイコンだと思うけれど、毎度毎度アイコンを開いて確認するのが手間です。出来れば通知確認をアイコンでしたいです。

△キッズビューの通知が届かないことがある。重要なお知らせを見逃したことがあるので、改善していただきたいです。（家族を複数名登録し、それぞれ閲覧している場合、最初に開いた人に次の通知が届くようになっている？）

◇その他の意見について（主に要望）

（１）紙おむつの持ち帰りについて

○国からの方針ということで、恵那市でもおむつの園での廃棄を実施してもらえてとても助かりました。

（２）給食などについて

- ・地域全体を通して子どもの数が減っている中、園内調理が行ってもらえていることをとても嬉しく思います。限りある予算の中難しいかと思われますが、できれば可能な限り、園内調理の文化を残してってもらいたいと思います。宜しくお願いします。（やまびこ）
- ・給食の献立に、白ご飯のメニューが多いが、めん類やパン食の献立も平日に取り入れてほしいと思います。めん類とパン食の食べ方など、成長につながるのだと思います。
- ・長期休暇や土曜保育の弁当持参についても、春から改善していただける事、とてもありがたいです。ですが、毎日米を炊いて子どもに持たせる労力、朝炊けていなかった時の絶望を親は感じる場合があります。こちらは慣例ではないのでしょうか。出来る事ならこちらの改善もお願いしたいです。

（３）アンケート方法について

- ・このアンケート方法に関してですが、毎年思っているのですが「記名あり」なのと「紙ベース」なのが気になっています。記名ありですと、見られることを前提として答えるので調査方法としては不適切ではないかということ、又他の調査同様、電子で答えられたらいいなと思っておりまます。ご検討いただけますと幸いです。
- ・アンケートの名前記載はなしにし、書いたら園のポストや箱投函というシステムにしてくれると嬉しいです。
- ・アンケートは匿名のほうがいいと思います。名前を出すと対応がかわるんじゃないかと心配になり本音がでてこないと思います。
- ・一人ずつについて評価とありますが、園に対する評価はかわらないので兄弟や姉妹のところは1部にしてほしい。

（４）幼児コースについて

- ・幼児コースの保育時間を14:00からせめて15:00にさせていただけたらと思います。下の子のお昼寝がはじまったと思ったすぐにお迎えになってしまうからです。
- ・14時のおむかえは下の子の昼寝時間とかぶってしまい大変、朝の始業時間が9時でもよいので、幼児コースのお迎えを14:30~15:00にしてもらえるとありがたい。幼児コースの長期休暇中の預かり保育があると助かる。今年の夏休みに下の子の4ヶ月検診があったが、夏休みは幼児コースの園児はいかなる理由でも預かれないと言われ困った。仕事をしていれば、夏休み中の仕事が休みの日でも預けることができるのに幼児コースだと用事があるのに預けられないのは不公平だと思う。
- ・幼児コースの保育時間を14:00からせめて15:00にして頂けたらと思っています。下の子のお昼寝が充分にとれずどうにかできないかなあと思います。

- ・ 幼児コースが2時までは早すぎると思います。こども園になる前の3時までにしてほしいです。
多くの保護者がそう思っていると思います。できないことではないと思います。

＜令和5年度 恵那市園保護者 城ヶ丘こども園 集計結果＞

4:とても思う
 3:やや思う
 2:あまり思わない
 1:まったく思わない
 0:無回答・その他

1 園経営等について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	園は、教育目標や教育・保育内容がよくわかるように情報提供をしている。	3.6	59.6% 38.6% 1.8%
2	園の施設・設備は整備され、子どもが生活しやすい環境になっている。	3.4	47.4% 45.6% 7.0%

2 教育及び保育について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	お子さんは、毎日園に行くことを楽しみにしている。	3.5	57.9% 36.8% 3.5% 1.8%
2	お子さんは、園の生活を通して成長している。	3.8	77.2% 22.8% 0.0%
3	園は、一人一人の子どもをよく理解し、誠実に対応している。	3.7	68.4% 31.6%
4	お子さんの気持ちや様子、子育てなどについて園等と情報交換したり、相談したりできる。	3.5	49.1% 47.4% 3.5%
5	園は、「あいさつ」をかわす心地よさと大切さを意識している。	3.6	64.9% 29.8% 5.3%
6	園は、絵本を中心に、読み聞かせ等「読書活動」が充実している。	3.7	71.9% 26.3% 1.8%
7	園は、ALTと一緒に、楽しみながら「英語に親しむ活動」を行っている。	3.7	64.9% 35.1%
8	園は、子ども達の発達に即した日常の教育・保育で「特色ある教育・保育」を行っている。	3.4	42.1% 52.6% 5.3%

3 地域等との連携について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	園は、園だよりやキッズビュー、ホームページ等を通し、園の情報を適宜提供している。	3.8	77.2% 22.8%
2	園は、地域・小学校と連携し教育・保育を進めている。	3.4	43.9% 47.4% 8.8%

4 こども園制度について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	園児の登園・降園を確実に把握するために、ICTによるシステムを導入したことは望ましい。	3.3	50.9% 33.3% 14.0% 1.8%

【園経営等について】

- 保育・教育目標の合言葉「元気な子」「思いやりのある子」「挑戦する子」を保護者に伝えていくために、保育活動の具体を園だより、クラス通信、ABC通信、異年齢通信、HPで積極的に紹介した。日常的に保育教諭と保護者が子どもの成長について対話する機会を一層大切にしてきた。これらの働きかけにより、園の方針等の情報提供について保護者評価の「評価4」が「40.0%→56.8%」「評価3,4」を合わせると98.8%(R4年度と5年度の比較)となり、評価平均も「3.4→3.6」と非常に高くなったと考える。
- コロナが第5類になったことを受け、異年齢活動や保護者、地域の方と関わる活動や行事を多く取り入れ、子どもたちの成長の様子を実際に観ていただく機会が増えたことも高評価につながった要因と言える。
- 園の施設・設備について、恵那市の施策でロッカー・床の改修をしていただき、子どもたちが安全で生活しやすい環境を進めることができた。
- 通用門の鍵が2,3回壊れる事態や大雨警報発表時に通用門下の園庭に水がたまり、安心、安全面で保護者から心配されるご意見をいただいた。不審者対応及び災害時の対応を強化するためにも、通用門の急坂改善を含め市への要望を継続していきたい。

【環境を通して行う教育及び保育について】

- 保護者評価は、8項目中6項目において昨年度より評価が上がっている。恵那市の4本柱については、どの項目も評価が向上した。特に「評価4」の評価が高かった項目は、「園生活を通して成長している」「一人一人をよく理解し誠実に対応」「読書活動」である。職員の自己評価「遊びの指導」の評価が「2.9→3.1」と上がっていることから、子どもの実態に合わせた遊びの指導が充実してきたと言える。
- 恵那市の4本柱である「読書活動」については、絵本通信の発刊や本の貸し出し日数を増やしたことで、園と家庭と連携して本に親しむ機会が増えたことが大きな成果につながったと言える。
- 今年度、特色ある園活動を「つながる活動」に変更した。本園のよさを生かし、異年齢、地域の人とつながる、次の活動につながる、願いにつながる活動を工夫しようと6月に設定した。12月までの取り組みから、この活動をより高めるための具体策を2月の園内研で話し合い実践する。来年度に向けて、子どもの姿を通して、「つながる活動」の重点を明確にして活動を一層充実させていきたい。

【連携について】

- 支援を要する園児については、特別支援コーディネーターが窓口となり、柔軟に対応したことで、園内の教育支援と外部機関との連絡調整、保護者への対応など、教育支援体制が一層整ってきた。
- 地域との連携については、年長・年中組が野菜を育てる際に、地域の野菜作り名人に来ていただいたり、JAへ子どもたちが苗を買いに出かけ地域の方とやりとりしたりして、植え方や収穫の仕方を教えていただいた。その他自然との関わりを広げるために、地域の方からおたまじゃくし、イチョウの情報などを得て、大井町にある田んぼや神社に出かけ、人や自然との関わりを充実させることができた。

- 防災に関わって、市の危機管理課や大井町在住の防災士と連携して、命を守る訓練や職員研修を園の実態に合わせて改善することができた。
- 小学校との連携では、体育専門の教師による3歳、4歳、5歳児が投げ方教室を開き、遠くまで投げる様子を見たり、実際に投げ方のコツを教えてもらったりした。そのことがドッジボール遊びでの投げ方に活かされたり、ボール投げが運動会種目になったり、小学校1年生とのドッジボール交流に発展したりするなど、子どもたちの願いと学びを深めることにつながった。
- 園小の連携として、小学校の学びと幼児教育を通した学びがどのようにつながっているのか、園小ともに理解が不十分である。このことに特化した仕組みが必要である。恵那市どの園も共通した課題であるにとらえている。

【保護者アンケートより】

- 多くの項目で昨年度と比べて評価平均が向上していることは職員一人一人の努力の結果である。今後も自信をもって保育教育に当たっていききたい。
- ICTに関わって、タブレットの充電や配置についてご意見をいただいた。スムーズに活用していただくよう環境を整える。
- 今年度から写真販売を「そだちえ」に移行した。注文の仕方について保護者の意見とすり合わせて活用を進めていく。
- 保育教諭と保護者のやり取りや保育教諭同士のやり取りについてご指摘を受けたことについて、全職員がこれを真摯に受け止め、子どものよいよい育ちに向けて一層配慮した言葉かけや対話ができるようにする。そのために、どの職員も不適切保育を含め自己の行動を振り返る場を職員会等で位置付け、適切に対応できる意識を高めていく。

【来年度に向けて】願う園児の姿・今後の改善策・来年度の園経営重点など

- ☆「身の周りの人・もの・自然と関わる体験をし、元気でなかよく自分から行動する子」
～「生き抜く力」の基礎を養う～《元気な子》《思いやりのある子》《挑戦する子》
この保育教育目標を次年度も継続して目標とする。
- ☆これまでの運営体制を維持しつつ、役割・内容をより明確にするとともに、自身のよさが発揮できるよう組織内の分掌を見直す。組織として保育教育活動を安定して行っていくことができるようにする。
- ☆特色ある園活動として、異種校間、異年齢、地域、保護者など様々な人との関わりや自然を含めた豊かな体験を一層充実させ、思いや願い、学びのつながりによって「主体性と思いやりの心」を培う保育の質を高めていく。つながりを深めるためにはコミュニケーションツールとして言葉で表現することが大切となる。子どもが考えたことを言葉で表現する場、個々の願いや発達に合わせた活動を選択したりする場を設定とともに、どの子のどんな思いも受け止めていく環境づくりをするなど、子どもからの発信を視点にした実践を園内研修等で交流し合い高めていく。
- ☆個別の支援が必要な園児に対して、引き続き園と保護者、そして関係機関が連携して支援をしていくことで、一人一人の園児が自分のよさを発揮し成長できる園にしていく。そのために、年間の見通しをもって保護者との面談や関係機関との連絡を意図的計画的に行う。
- ☆危機管理として、個人情報の取扱いや不適切保育等に関わる内容、ヒヤリハット事例など、園内の情報や管理の仕方を共通理解し自身の保育を振り返る場を設ける。

《令和5年度 恵那市こども園保護者 大井こども園集計結果》

4:とても思う
 3:やや思う
 2:あまり思わない
 1:まったく思わない
 0:無回答・その他

1 園経営等について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	園は、教育目標や教育・保育内容がよくわかるように情報提供をしている。	3.6	64.3% 35.7%
2	園の施設・設備は整備され、子どもが生活しやすい環境になっている。	3.3	39.3% 51.8% 8.9%

2 教育及び保育について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	お子さんは、毎日園に行くことを楽しみにしている。	3.5	60.0% 32.7% 7.3%
2	お子さんは、園の生活を通して成長している。	3.8	80.4% 19.6%
3	園は、一人一人の子どもをよく理解し、誠実に対応している。	3.6	62.5% 35.7% 1.8%
4	お子さんの気持ちや様子、子育てなどについて園等と情報交換したり、相談したりできる。	3.5	58.9% 35.7% 5.4%
5	園は、「あいさつ」をかわす心地よさと大切さを意識している。	3.6	66.1% 28.6% 5.4%
6	園は、絵本を中心に、読み聞かせ等「読書活動」が充実している。	3.5	55.4% 41.1% 3.6%
7	園は、ALTと一緒に、楽しみながら「英語に親しむ活動」を行っている。	3.7	67.9% 32.1%
8	園は、子ども達の発達に即した日常の教育・保育で「特色ある教育・保育」を行っている。	3.6	64.3% 35.7%

3 地域等との連携について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	園は、園だよりやキッズビュー、ホームページ等を通し、園の情報を適宜提供している。	3.7	67.9% 32.1%
2	園は、地域・小学校と連携し教育・保育を進めている。	3.4	47.3% 47.3% 5.5%

4 令和5年度より導入した機能について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	園児の登園・降園を確実に把握するために、ICTによるシステムを導入したことは望ましい。	3.5	53.6% 37.5% 8.9%

【園経営等について】

- 一人一人の職員が教材研究をしたり、職員会、学年会、クラス会といった会議を持ったりしながら、どのような保育をしていくかをしっかり話し合って進めていくことが出来た。
- 毎年行う行事であっても、昨年の反省を生かしながら一つ一つ丁寧に計画をし、進めていくことが出来た。
- 職員の資質向上を求めて、今年度は多くの研修を受けながら、そこで得たものを保育で生かすことが出来た。
- 月一度の安全点検を始め危機管理に努め、常に安全保育を意識するよう伝えてはいるが、職員の意識の温度差を感じることもある。

【環境を通して行う教育及び保育について】園児の姿・保育教諭の指導・自己評価から

- 特色ある園活動を意識した保育を中心に、何をねらいに持って取り組むか等を話し合い、クラス活動、全園活動などを通して指導を行なうことが出来た。
- 月に一度は支援会義を開き、年に3回の保護者との面談（その他 必要に応じて）を行い、担任と加配が意思統一をしながら支援を行うことが出来た。
- 挨拶の大切さや絵本の読み聞かせの大切さを、通信を通して保護者に知らせ、家庭と一緒に取り組んでいくことが出来た。

【連携について】

- 大井第二小学校の研究会に参加させていただき、研究内容はもちろんのこと、研究会の進め方もとても勉強になった。
- 保育をみていただき、子どもの話をする事は出来たが、児童と園児の交流までには至らない。恵那東中学校とは生徒と園児の交流を持つことが出来、普段接する機会が少ない年齢の生徒さんと交流が持てたことはよかった。
- 地域との交流は街中故になかなか交流をしていただく事業所や団体がわからない。地域や歴史を知るために行在所へ出かけたこと、地域を散歩することしかできなかった。来年度は色々な機関と連携を持てたらと思う。

【保護者アンケートより】

- クラス通信などで子どもの様子を伝える時に、意図や保育士の思い、何をねらってこの活動をしたのか等をきちんと明確にしたことで、自分たちの考えが伝わり、保護者の理解を得ることが出来た。
- ホームページや通信を心待ちにし、楽しんで頂けているようで良かった。キッズビューもまだ慣れない方もみえるようだが、使いやすいという声もあった。
- 園舎の設備（テラス・門 等）での指摘があり、修繕の相談をしていく。



【来年度に向けて】願う園児の姿・今後の改善策・来年度の園経営重点など

- 園目標『夢中で遊べる子』の「夢中で遊べる子とは」を意思統一し、そこへ向かって取り組んでいく。
- わらべうたあそびを通して、人とのつながりを大切にし、相手を思いやる気持ちを持ったり、自分の思いが伝えたり出来る子にしていく。
- 地域との連携を深める為、情報を得ていく。
- 研修などを通して資質の向上や新しい技術の取得に努める。

《令和5年度 恵那市子ども園保護者 おさしま二葉子ども園 集計結果》

4:とても思う
 3:やや思う
 2:あまり思わない
 1:まったく思わない
 0:無回答・その他

1 園経営等について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	園は、教育目標や教育・保育内容がよくわかるように情報提供をしている。	3.5	50.0% 45.7% 4.3%
2	園の施設・設備は整備され、子どもが生活しやすい環境になっている。	3.7	73.9% 26.1%

2 教育及び保育について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	お子さんは、毎日園に行くことを楽しみにしている。	3.6	61.3% 35.8% 2.9%
2	お子さんは、園の生活を通して成長している。	3.8	84.1% 15.0%
3	園は、一人一人の子どもをよく理解し、誠実に対応している。	3.6	62.3% 35.5% 2.2%
4	お子さんの気持ちや様子、子育てなどについて園等と情報交換したり、相談したりできる。	3.5	54.3% 41.3% 4.3%
5	園は、「あいさつ」をかわす心地よさと大切さを意識している。	3.6	61.3% 35.0% 2.2% 1.5%
6	園は、絵本を中心に、読み聞かせ等「読書活動」が充実している。	3.6	59.1% 38.7% 2.2%
7	園は、ALTと一緒に、楽しみながら「英語に親しむ活動」を行っている。	3.5	52.2% 45.7% 2.2%
8	園は、子ども達の発達に即した日常の教育・保育で「特色ある教育・保育」を行っている。	3.5	54.4% 40.4% 4.4% 0.7%

3 地域等との連携について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	園は、園だよりやキッズビュー、ホームページ等を通し、園の情報を適宜提供している。	3.5	52.2% 44.9% 2.9%
2	園は、地域・小学校と連携し教育・保育を進めている。	3.3	34.3% 56.2% 9.5%

4 こども園制度について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	園児の登園・降園を確実に把握するために、ICTによるシステムを導入したことは望ましい。	3.6	59.9% 38.0% 2.2%

【園経営等について】

- 今年度初めの1歳児から3歳児まで保育参観で園目標や保育内容についてのお話をしたことで、保護者評価が上がり、理解していただける保護者が増えたことに感謝している。
- 園舎が新しいこともあり、施設や設備の環境については評価が高い。
- 自由意見の中に更なる情報提供を求める声もあり、ICTを活用して情報公開に努めたい。
- 園児数が多いためニーズが多様化し、意見をまとめることが難しい。

【環境を通して行う教育及び保育について】園児の姿・保育教諭の指導・自己評価から

- 体感を使った遊びをたくさん取り入れ、体を動かすことの好きな子が増えた。体の使い方が上手になり、計画的に指導ができたと感じる。
- 園目標や活動テーマの意図が分かる先生が増えてきて、どのように子ども達と体を動かし楽しめるかなど考え活動ができつつある。
- 職員が園のテーマを意識して活動を行うことが出来るようになってきた。
- 園児の姿を通しての自己評価が上がっている反面で職員間の連携を課題に挙げている職員が多い。
- 行事等、一部の職員に任せる体制になりがちで、積極的な意見交換が行える職員集団を目指したい。

【連携について】

- 職員が交代でホームページの記事を掲載することで、一人の担当が記事を書くより内容の幅が広がったため公開できる情報が増えたことで、保護者からの評価が上がった。
- コロナによる規制が解除されたことにより、制限なく行事が行えるようになり地域との交流も増えた。
- 年長児が交流することが多いため、他の学年も地域や小学校と関わるとよい。

【保護者アンケートより】

- 園の活動を支援し、感謝の言葉をいただける機会が増えた。
- 保育ICTの導入に関する期待度が大きく、関心を持っている家庭が多い。
- 園の通用門の鍵をかけてほしい、駐車場の利用する方のマナーなど、安全を心配される方が多いが、園児数が多いことでニーズに答えることが難しいことがある。
- 運動会のやり方に対する意見が多数あり、意見をまとめることが難しい。



【来年度に向けて】願う園児の姿・今後の改善策・来年度の園経営重点など

<願う園児の姿>

- ・「心豊かでたくましい子」を目標に、遊びを通して意欲をもって活動する子を育てていきたい。

<今後の改善策>

- ・園生活を通じて子どもが成長していると感じている保護者が増えているため、運動遊びを重点に置く方針は変更せず、職員が園テーマを意識し活動に展開できるようにしていく。
- ・ICTを活用し情報提供に努め、教育・保育内容を丁寧に伝えるようにしていく。

<来年度の園経営の重点>

- ・体を動かして遊ぶことで、職員や友だちに憧れを持ち、意欲をもって活動に参加できる子を育てる。
「楽しかった」「明日もこども園に行きたい」と子どもが感じられる、安心で安全で楽しい保育環境を提供する。

「令和5年度 恵那市こども園保護者 やまびここども園 集計結果」

4: とても思う
 3: やや思う
 2: あまり思わない
 1: まったく思わない
 0: 無回答・その他

1 園経営等について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	園は、教育目標や教育・保育内容がよくわかるように情報提供をしている。	3.8	81.3% 18.8%
2	園の施設・設備は整備され、子どもが生活しやすい環境になっている。	3.5	50.0% 50.0%

2 教育及び保育について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	お子さんは、毎日園に行くことを楽しみにしている。	3.5	59.4% 34.4% 6.3%
2	お子さんは、園の生活を通して成長している。	3.9	87.5% 12.5%
3	園は、一人一人の子どもをよく理解し、誠実に対応している。	3.7	78.1% 15.6% 6.3%
4	お子さんの気持ちや様子、子育てなどについて園等と情報交換したり、相談したりできる。	3.6	65.6% 25.0% 9.4%
5	園は、「あいさつ」をかわす心地よさと大切さを意識している。	3.7	78.1% 15.6% 6.3%
6	園は、絵本を中心に、読み聞かせ等「読書活動」が充実している。	3.7	71.9% 28.1%
7	園は、ALTと一緒に、楽しみながら「英語に親しむ活動」を行っている。	3.8	81.3% 18.8%
8	園は、子ども達の発達に即した日常の教育・保育で「特色ある教育・保育」を行っている。	3.8	75.0% 25.0%

3 地域等との連携について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	園は、園だよりやキッズビュー、ホームページ等を通し、園の情報を適宜提供している。	3.8	78.1% 18.8% 3.1%
2	園は、地域・小学校と連携し教育・保育を進めている。	3.7	71.9% 28.1%

4 令和5年度より導入した機能について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	園児の登園・降園を確実に把握するために、ICTによるシステムを導入したことは望ましい。	3.4	53.1% 34.4% 12.5%

【園経営等について】

- コロナ明けて、祖父母参観や給食参観など再開し園での様子がよく分かったと保護者に好評だった。
- 医療ケア児受け入れ園として認知されてきている。行事などで、個々に合わせた取り組みからケア児だけでなく支援が必要な子など、丁寧な保育を感じていただけている。
- 保育補助や看護師を活用し、事務時間と休憩時間の確保が昨年に比べてできている。副園長がフリーでいることで、保育内容や園児の支援に繋がっている。
- 調理員が病休を取ることがあった。さまざまな立場の職員が大勢いるため、職員指導やメンタルケアが重要。また、クラスに複数職員がいるため、職員の連携が難しい。

【環境を通して行う教育及び保育について】園児の姿・保育教諭の指導・自己評価から

- 自然物を通した遊びを意識的に取り入れ、参観日などでも保護者に体験してもらうことで理解が深まっている。やまびこは自然の中でのびのびとした保育をしていると周知され、他地域から選んできてもらえることが嬉しい。
- 職員が代わると遊びが途絶えてしまうこともあるので、集団遊び同様伝承していけるとよい。

【連携について】

- 小学生との連携の機会が増えた。(絵本の読み聞かせ・参観・交流など)
また、夏休みに小学校の先生方が園の様子を見て、研修会を行うことで園への理解が深まった。
- 関係機関との連携が、適切な支援や保育者の悩み解消に繋がってありがたかった。
- 子育て支援課とも連携し、子どもの情報交換や心配な家庭の見守りなど行うことができている。
- 地域との連携の仕方を模索中。

【保護者アンケートより】○子どもに合わせた丁寧な保育及び保育内容に理解を示す方が多くありがたい。

- 職員一人ひとりが気持ちの良い挨拶をして保護者に声をかけ、話しやすく暖かい雰囲気での通いやすいと感じていただいている。
- 園内調理の給食に関して、子どもの話や給食参観の試食でとても素晴らしいことが伝わっている。同時に園での野菜栽培やクッキングの良さも理解してもらえている。
- 施設面では、改善できるところから修繕・整備していく。



【来年度に向けて】願う園児の姿・今後の改善策・来年度の園経営重点など

- ・願う園児の姿
 - ・友だちと関わりながら、遊びこむことができる子。
 - ・自分の気持ちを伝えられる子。相手の気持ちがわかる子。
 - ・誰にでも気持ちの良い挨拶ができる子。
- ・身近な自然を活かした保育の充実、散歩の機会を増やす。(特色ある園活動)
- ・インクルーシブ保育を意識し、主体性を大切にしたい保育を目指す。
- ・職員が連携し、子どもや保護者に寄り添い信頼される園作りをする。
- ・保護者の協力のもと、様々な経験の中で子どもたちの心と体を育てていく。

「令和5年度 恵那市 東野こども園保護者 集計結果」

4:とても思う
 3:やや思う
 2:あまり思わない
 1:まったく思わない
 0:無回答・その他

1 園経営等について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	園は、教育目標や教育・保育内容がよくわかるように情報提供をしている。	3.6	63.0% 37.0%
2	園の施設・設備は整備され、子どもが生活しやすい環境になっている。	3.5	55.6% 37.0% 7.4%

2 教育及び保育について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	お子さんは、毎日園に行くことを楽しみにしている。	3.5	59.3% 33.3% 7.4%
2	お子さんは、園の生活を通して成長している。	3.7	74.1% 25.9%
3	園は、一人一人の子どもをよく理解し、誠実に対応している。	3.6	66.7% 29.6% 3.7%
4	お子さんの気持ちや様子、子育てなどについて園等と情報交換したり、相談したりできる。	3.6	66.7% 25.9% 7.4%
5	園は、「あいさつ」をかわす心地よさと大切さを意識している。	3.7	66.7% 33.3%
6	園は、絵本を中心に、読み聞かせ等「読書活動」が充実している。	3.8	81.5% 18.5%
7	園は、ALTと一緒に、楽しみながら「英語に親しむ活動」を行っている。	3.7	74.1% 25.9%
8	園は、子ども達の発達に即した日常の教育・保育で「特色ある教育・保育」を行っている。	3.7	66.7% 33.3%

3 地域等との連携について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	園は、園だよりやキッズビュー、ホームページ等を通し、園の情報を適宜提供している。	3.8	77.8% 22.2%
2	園は、地域・小学校と連携し教育・保育を進めている。	3.8	77.8% 22.2%

4 こども園制度について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	園児の登園・降園を確実に把握するために、ICTによるシステムを導入したことは望ましい。	3.4	55.6% 29.6% 14.8%

【園経営等について】

- 学年ごとのクラスが成立し、各学年での学級経営を行った。それぞれの成長発達を捉えながら保育に当たることができる環境であった。通信等で思いやねらいなど伝えてきたことが評価につながった。
- ブランコの撤去・新設により子供たちの遊びの場づくりや、ブランコでの遊びが発達、かかわりにも大きな影響がみられた。

【環境を通して行う教育及び保育について】園児の姿・保育教諭の指導・自己評価から

- 4本柱については、毎年の活動の積み重ねを、理解していただいたことが成果に繋がっていることが伺えた。ALT 活動は参観日を設け保護者も一緒に行ったことが理解されたと考える。挨拶では昨年の反省から、声掛けを行ったことで、子ども達も保護者も自然に挨拶する姿が見られると感じる。
- 子どもの姿から、毎日園を楽しみにしてくれていることは評価されたが、一人一人に対しての理解や成長に関して、思いが通じていなかったこと、相談できる関係性ができていないと感じた。保育士の思いとのずれを感じ来年度の課題となる。

【連携について】

- 地域の方々との連携をし、その中で様々な活動をしてきたことを伝えたことで、保護者にも理解してもらえている。
- 学校との連携に関しては、かかわりや、訪問回数などは増えているものの、保護者への伝え方が弱かったためと反省する。

【保護者アンケートより】

- 保育内容、子ども達との活動には理解を得ているが、園経営の部分では、未満児保育、幼児コースの時間延長などの要望が記載されている。また育友会の活動(スマイル学級)の在り方にも意見があり、来年度の課題とする。
- ICT においてはまだ、機能を使っていないことから、全体的の評価が低く、今後使用していくことで解消されるように取り組んでいかななくてはならないと感じる。



【来年度に向けて】願う園児の姿・今後の改善策・来年度の園経営重点など

<願う姿>人とつながる、かかわる楽しさを 充実した生活の中で味わう

<今後の改善策>

- ・園活動を通じて一人一人に寄り添い、子育てについて保護者と情報交換し、相談し合える関係性の構築。
- ・園目標や特色ある園活動を通じて充実した園生活が送れるような環境作り。

<来年度の園経営重点>

- ・複式学級において、その年齢・発達にあった保育の充実
- ・特色「絵本を通じて」の活動から、表現活動への取り組み
- ・ICT の活用方法を探りながら、保育に活かし、かつ効率的な取り組みの仕方を考える

 4:とてもそう思う
 3:ややそう思う
 2:あまり思わない
 1:まったく思わない
 0:無回答・その他

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	園は、教育目標や教育・保育内容がよくわかるように情報提供をしている。	3.6	
2	園の施設・設備は整備され、子どもが生活しやすい環境になっている。	3.1	

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	お子さんは、毎日園に行くことを楽しみにしている。	3.5	58.3% 33.3% 8.3%
2	お子さんは、園の生活を通して成長している。	3.9	88.9% 11.1%
3	園は、一人一人の子どもをよく理解し、誠実に対応している。	3.8	80.6% 16.7% 2.8%
4	お子さんの気持ちや様子、子育てなどについて園等と情報交換したり、相談したりできる。	3.7	75.0% 19.4% 5.6%
5	園は、「あいさつ」をかわす心地よさと大切さを意識している。	3.7	77.8% 16.7% 5.6%
6	園は、絵本を中心に、読み聞かせ等「読書活動」が充実している。	3.6	61.1% 36.1% 2.8%
7	園は、ALTと一緒に、楽しみながら「英語に親しむ活動」を行っている。	3.7	75.0% 22.2% 2.8%
8	園は、子ども達の発達に即した日常の教育・保育で「特色ある教育・保育」を行っている。	3.6	58.3% 41.7%

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	園は、園だよりやキッズビュー、ホームページ等を通して、園の情報を適宜提供している。	3.4	
2	園は、地域・小学校と連携し教育・保育を進めている。	3.4	

No.	評価の観点	評価平均	評価										
1	園児の登園・降園を確実に把握するために、ICTによるシステムを導入したことは望ましい。	3.2	<table border="1"> <thead> <tr> <th>評価</th> <th>割合</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>36.1%</td> <td>36.1%</td> </tr> <tr> <td>47.2%</td> <td>47.2%</td> </tr> <tr> <td>13.9%</td> <td>13.9%</td> </tr> <tr> <td>2.8%</td> <td>2.8%</td> </tr> </tbody> </table>	評価	割合	36.1%	36.1%	47.2%	47.2%	13.9%	13.9%	2.8%	2.8%
評価	割合												
36.1%	36.1%												
47.2%	47.2%												
13.9%	13.9%												
2.8%	2.8%												

【園経営等について】

- 施設が老朽化していたため園庭、園舎屋根、保育室床とロッカーの修繕をしていただき、子どもたちが安全に生活できるようになった。毎月、安全点検を行い安全な環境づくりを心掛けた。
- 教育目標や特色ある園活動・園活動の内容などを保護者対象の通信やホームページにて知らせてきたが、伝わりにくさを感じた。園での取り組みや方針など保護者会の折などに情報提供できるよう工夫する。

【環境を通して行う教育及び保育について】園児の姿・保育教諭の指導・自己評価から

- さつまいもの苗さし・芋ほり・焼き芋とお茶会など地域の方々のおかげでできる行事があり、子どもたちが体験できる嬉しい環境になっている。また、園外に出かけると声をかけていただけたり、地域の方の御行為で園舎横のトレセンランドやお借りしている畑横の広場で、どの年齢児も季節の自然に触れたり走ったり集団遊びをしたりと身体を動かし遊ぶことができた。
- 職員が元気に挨拶をすることで子ども達も少しずつ挨拶できるようになってきた。保護者は難しい。
- 子どもが楽しめる保育内容を考え実践してきたが、職員会で決まったことが全職員に全て伝わることは難しかった。職員間のコミュニケーションの取り方や報告、連絡の手段を考え、何事も全職員間で多くの案を出し合い、協力して時には臨機応変に考え保育を進めていきたい。

【連携について】

- 巡回相談に教頭先生が来園してくださり、小学校と情報交換ができた。学校運営協議会の中で小学校の参観もでき、小学生の様子が参観できた。また、地域の会議で先生方とお会いでき連携できた。
- 小学校と園との距離があり、子どもも職員も連携をとる機会が少ない。夏などに園へ参観に来ていただくなど対策を考えていきたい。

【保護者アンケートより】

- 『みさとこども園の先生方皆さんが子どもたちを見守り、日々色々な経験をさせてくださるお陰で、のびのびと、元気いっぱい成長していることを感じています。』との意見あり。来年度も保育内容を職員で考えて進め、保護者に伝えていきたい。
- 『急に ICT 化が進み戸惑っています。キッズビューでの登降園チェックも親からしたら、面倒なことが増えただけです。お便りも紙のものとキッズビューのものと混在していてわかりにくいです。』との意見あり。来年度に向けてキッズビューの使い方を考え、保護者に伝えていきたい。

【来年度に向けて】願う園児の姿・今後の改善策・来年度の園経営重点など

- ・今年度の修繕箇所以外で老朽化している園内外の点検を引く続き、皆で常に行い安全保育に努める。
- ・保護者や地域の方・小学校などと連携し保育を進めていきたい。その新たな連携方法を職員一人ひとりが現状を自覚し、考えて案を出し合い進めていく。
- ・登園後すぐ遊びに取り掛かることができるような環境を工夫したり、保育者が遊びを提供してどの職員も子どもと楽しく遊んだりできるような保育を考える。トレセンランドの楽しい使い方も考えていく。
- ・園を楽しみに登園でき、年齢なりに考え工夫して生活する中で、集中することや自分の思い・考えを言葉で表すこと・人との関りや人の温かさ相手の思い、命の大切さを知ることなどを身につけてほしい。
- ・保護者への情報内容、その提供方法の工夫が必要。時期を逃さず伝わりやすいホームページや引き続き通信も職員で相談しながら工夫して発行する。
- ・日頃の保育や行事などの中身が充実するように職員間で案を出し合い、相談して協力し全職員間でお互いを認め合える良い関係づくりをする。そして、皆で共通理解をして園全体で楽しい保育を進めていきたい。

「令和5年度 恵那市こども園保護者 武並こども園 集計結果」

4:とてもそう思う
 3:ややそう思う
 2:あまり思わない
 1:まったく思わない
 0:無回答・その他

1 園経営等について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	園は、教育目標や教育・保育内容がよくわかるように情報提供をしている。	3.6	62.3% 32.1% 5.7%
2	園の施設・設備は整備され、子どもが生活しやすい環境になっている。	3.6	64.2% 35.8%

2 教育及び保育について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	お子さんは、毎日園に行くことを楽しみにしている。	3.7	73.6% 24.5% 1.9%
2	お子さんは、園の生活を通して成長している。	3.9	84.9% 15.1%
3	園は、一人一人の子どもをよく理解し、誠実に対応している。	3.7	73.6% 26.4%
4	お子さんの気持ちや様子、子育てなどについて園等と情報交換したり、相談したりできる。	3.8	77.4% 22.6%
5	園は、「あいさつ」をかわす心地よさと大切さを意識している。	3.8	77.4% 22.6%
6	園は、絵本を中心に、読み聞かせ等「読書活動」が充実している。	3.7	73.6% 26.4%
7	園は、ALTと一緒に、楽しみながら「英語に親しむ活動」を行っている。	3.8	81.1% 18.9%
8	園は、子ども達の発達に即した日常の教育・保育で「特色ある教育・保育」を行っている。	3.6	67.9% 28.3% 3.8%

3 地域等との連携について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	園は、園だよりやキッズビュー、ホームページ等を通し、園の情報を適宜提供している。	3.6	67.9% 28.3% 3.8%
2	園は、地域・小学校と連携し教育・保育を進めている。	3.7	73.6% 26.4%

4 令和5年度より導入した機能について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	園児の登園・降園を確実に把握するために、ICTによるシステムを導入したことは望ましい。	3.3	34.6% 63.5% 1.9%

【園経営等について】

- 今年度は、親子遠足から始まりコロナ前のように行事を行うことができ、保護者からも好評価だった。
- キッズビューなどの連絡ツールを利用し電子でお手紙を配布した。概ね電子で受け取ることに理解をして頂いたが、中には紙ベースでとの要望があったので、個別に対応している。
- 1から10まで決めていないと動けない保護者が増え、保護者同士のトラブルがあった。保護者にも考えてもらうことが大切だと思うが、手立てがない。

【環境を通して行う教育及び保育について】園児の姿・保育教諭の指導・自己評価から

- 園のテーマに向け、朝活動やこども達が自分たちで遊びを進めて行ける時間を確保してきた。そのことで、園で目標としている、こども達が自分たちであそびを広げ、トラブルも子ども達で解決する姿も多く見られた、また、異年齢で遊ぶ日を3学期からは体操の後とり入れ、異年齢交流もできた。
- 中野方こども園から、ドッチボールの誘いがあり、訪問してくれたことで、ドッチボールが盛んになり年長児だけでなく、年中児に広がった。他園との交流も大切だと感じた。
- 今年度前半は、異年齢でふれあう事ができなかったのも、大きい子にあこがれるなどの感覚が希薄になった。来年度は、4月から異年齢で関わる遊びを提供出来たら良いと感じる。

【連携について】

- 地域の「里山の会」の方と年長児の触れ合いが出来た。
- 藤の里「結」のご老人との関りに児童委員さんと呼んだり、地位との交流を発信できた。
- 地域のご老人から提案があり、こども達との関りを楽しんでもらえた。
- 保護者会と連携して、行事をすすめ保護者も納得して行事に参加できた。

【保護者アンケートより】

- 少数だが評価に1がついた項目があったので、直接保護者と話改善できるところは改善、保護者にも理解して頂かなければならないこともあるので、園としてこども達をどのように育てて行きたいかを職員で一致団結して伝えて行きたいと思う。
- 自由意見については、3月2日(土)の保護者作業の日に文章 口頭で話す予定。



【来年度に向けて】願う園児の姿・今後の改善策・来年度の園経営重点など

- ・園目標「心身ともに健康な子」を願います。
 - ・保護者評価を参考にしながら、幼児教育研究会の園内研修(子どもの話をできる時間をいただいているので)などで、「意欲的に子どもが動くには保育者はどのような事をこころがけるか」などを、しっかり話し合い全職員が、同じ気持ちで教育、保育に従事できるようしていく。
 - ・「こどもには生来、自立・発達していこうとする力(自己教育力)があり、その力が発揮されるためには発達に見合った環境(物的環境・人的環境)が必要である。」という定説の元、武並こども園の園テーマ「やってみたい」があふれる毎日を願っては、自己教育力を培ってほしいと掲げたテーマです。遊びの中では、こども達からの声を取り上げ毎日の生活を送っております。今後も、こどもから「やってみたい」があふれる活動を、仕組んだり、見守ったりして自発的なこどもに育つよう、環境作りをして行きたい。
- 願う姿は変化していくものではないので、昨年と同じ思いを記しました。

「令和5年度 恵那市こども園保護者 中野方こども園 集計結果」

4: とても思う
 3: やや思う
 2: あまり思わない
 1: まったく思わない
 0: 無回答・その他

1 園経営等について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	園は、教育目標や教育・保育内容がよくわかるように情報提供をしている。	3.9	
2	園の施設・設備は整備され、子どもが生活しやすい環境になっている。	3.8	

2 教育及び保育について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	お子さんは、毎日園に行くことを楽しみにしている。	3.8	
2	お子さんは、園の生活を通して成長している。	3.9	
3	園は、一人一人の子どもをよく理解し、誠実に対応している。	3.8	
4	お子さんの気持ちや様子、子育てなどについて園等と情報交換したり、相談したりできる。	3.9	
5	園は、「あいさつ」をかわす心地よさと大切さを意識している。	3.8	
6	園は、絵本を中心に、読み聞かせ等「読書活動」が充実している。	3.8	
7	園は、ALTと一緒に、楽しみながら「英語に親しむ活動」を行っている。	4.0	
8	園は、子ども達の発達に即した日常の教育・保育で「特色ある教育・保育」を行っている。	4.0	

3 地域等との連携について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	園は、園だよりやキッズビュー、ホームページ等を通し、園の情報を適宜提供している。	4.0	
2	園は、地域・小学校と連携し教育・保育を進めている。	4.0	

4 令和5年度より導入した機能について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	園児の登園・降園を確実に把握するために、ICTによるシステムを導入したことは望ましい。	3.3	

【園経営等について】

○職員間で日頃から話し合い、特色ある園活動の取り組みについて意識することで、共通理解を図ることができ、ねらいに沿った活動を行うことができた。保護者に対しては通信やHP、参観日などの機会に、園で大事にしていることを伝えてきたことで理解を得られた為、とても協力的だった。また、子どもの姿から成長を感じ取ってもらえた。

●集団遊びなどは自発的に遊び始められるようになってきているが、園内での自然環境が乏しいので、野菜栽培や園外での活動を取り入れるようにしている。今後は園内や身近な場所などでも、生活の中で自然と五感が育ったり、学びの場が広がったりできるように、限られた場所をどのように環境設定していくかも考えて行く必要がある。

【環境を通して行う教育及び保育について】園児の姿・保育教諭の指導・自己評価から

○特色ある園活動で掲げているねらいを職員がよく理解し、また、常に連携をとったことで、日々の保育の中にねらいに沿った活動を取り入れたり、意欲をもてるような声掛けをしたりできた。そのことで、集団遊びを自発的に始めたり、子ども同士でルールを決めたりする姿が見られるようになり、少しずつだが、確実に力がついてきていると感じた。

○コロナがら類になったことにより、地域とのかかわりを更に増やすことができた。地域の方も喜んでくださるし、子ども達も感謝の気持ちがもてるようになった。

●いろいろな運動遊びや散歩などを通して体力がついたと感じているが、スポーツテストで確認したところ、伸び悩んでいる部分もあった。

【連携について】

○小学校と常に連絡を取り合い、交流を行うことができた。特にノーメディアの取り組みに今年も連携して取り組み、小学校とこども園で一緒に期間を、家庭でメディアについて考えたり、見直したりしてもらうことができた。お互いが子ども達の様子をたびたび見学し、確認しながら伝えることで、就学に向けて個々の事を連携できた。

○地域の方とのかかわりを積極的にもった。特に畑づくりや、まめくらとのかかわりを継続し、他にお世話になっている地域団体の方にも手紙を渡してお礼を伝えるなど、感謝が形として見えることで、より地域や地元の方を意識できるようにする事ができた。

【保護者アンケートより】

○ホームページや通信などで園の様子を知らせる回数を更に増やしたことで、園の様子がわかりやすいという評価を得ることができた。

○たくさんの経験をさせてあげたいと、地域や他園と交流して取り組んだことで、いきいきと活動できる子どもの姿が見られた。保護者も子どもの成長を感じることができたと、高い評価につながった。

●ほとんどの保護者が、園の取り組みを理解し、共感、協力をしてくれたが、理解を得られず園の活動に無関心な方もいるので、アピール方法を考え、園と保護者が協力して子育てができるようにしていきたい。

【来年度に向けて】願う園児の姿・今後の改善策・来年度の園経営重点など

《園目標、特色ある園活動共に『心と体がいきいきと育つ事』を意識して取り組む。》

- ・集団遊びを提案し、繰り返し取り組むことで遊びの楽しさが味わえるようになってきているので、引き続き、思いっきり遊びを楽しめる時間を作っていく。
- ・小さい子に遊びを伝承していく。
- ・心の面では、子どもに寄り添いながら保育をおこなってきたことで子どもたちと信頼関係が築けてきているが、そのことが保護者にも伝わるように、工夫していく。
- ・言葉での伝え合いにも引き続き取り組み、クラス会議を定着させていく中で、伝わる心地よさを味わわせ、言葉をどんどん引き出していけるようにする。
- ・運動面では計測結果を見ると、伸びているところと、伸び悩んでいるところが明確になったので、引き続き、力をつけるにはどうした動きが良いか研究しながら保育に取り入れていく。
- ・職員間で付けたい力について常に確認し合うことで、保育を振り返り、新たな課題について共通理解をもって取り組む。

《令和5年度 恵那市こども園保護者 飯地こども園 集計結果》

4:とても思う
 3:やや思う
 2:あまり思わない
 1:まったく思わない
 0:無回答・その他

1 園経営等について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	園は、教育目標や教育・保育内容がよくわかるように情報提供をしている。	4.0	
2	園の施設・設備は整備され、子どもが生活しやすい環境になっている。	4.0	

2 教育及び保育について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	お子さんは、毎日園に行くことを楽しみにしている。	3.7	
2	お子さんは、園の生活を通して成長している。	4.0	
3	園は、一人一人の子どもをよく理解し、誠実に対応している。	4.0	
4	お子さんの気持ちや様子、子育てなどについて園等と情報交換したり、相談したりできる。	4.0	
5	園は、「あいさつ」をかわす心地よさと大切さを意識している。	4.0	
6	園は、絵本を中心に、読み聞かせ等「読書活動」が充実している。	4.0	
7	園は、ALTと一緒に、楽しみながら「英語に親しむ活動」を行っている。	4.0	
8	園は、子ども達の発達に即した日常の教育・保育で「特色ある教育・保育」を行っている。	4.0	

3 地域等との連携について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	園は、園だよりやキッズビュー、ホームページ等を通し、園の情報を適宜提供している。	3.7	
2	園は、地域・小学校と連携し教育・保育を進めている。	4.0	

4 令和5年度より導入した機能について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	園児の登園・降園を確実に把握するために、ICTによるシステムを導入したことは望ましい。	3.7	

【園経営等について】

○少人数という事を生かし、一人ひとりを丁寧に保育するという理念で運営や保育を行った。発達や年齢に合わせた保育が提供できた。

○他園との交流は、未満児もいることから保護者の送迎が必須であったが、子どもが楽しみにしていることや自園ではできない活動ができた事で肯定的に評価されていた。

●異年齢、少人数保育の指導については、他園や他市との交流で今後も工夫をしていきたい。

【環境を通して行う教育及び保育について】園児の姿・保育教諭の指導・自己評価から

○個々の発達に合わせた保育を職員間で相談し共有できた。

○少人数で温かな雰囲気の中、保育を行えていると思う。個々に応じた支援や配慮も心掛けている。

○少人数を生かし、細かな支援ができていた。地域との交流を少しずつ広げることができた。

●遊びの指導については、少人数過ぎることから遊びの幅が狭く、ダイナミックさに欠ける面があった。また遊びが持続せず、発展もしにくいことが多く見受けられた。異年齢かつ少人数の保育の難しさを感じており、指導方法について悩むことが多い。他の小規模園の交流を行い保育内容について考えていけると良い。

【連携について】

○小学校との連携では、150周年記念行事に参加し一緒に祝うことができた。こまめな情報共有を行い、相談に乗ってもらう事もできた。多くの行事で交流し恒例になっていることができた。

○地域の事業所に出かけ、施設の方や地域の方と交流する機会が持てた。

●交流できる方々も少ないので、回数や行事の工夫でさらなる交流方法を工夫していきたい。

【保護者アンケートより】

○登園を楽しみにする姿、子ども達の成長を感じている、充実した園生活を送っているなど肯定的な意見が聞かれた。他園交流や地域との交流など活動について理解し、メリットと捉えてくださっている。

●実際にバスなどで町外へ出かけルールやマナーを実際に体験できる活動をもっと行って欲しいとの事。

●人数の少なさから今後の運営について不安。何らかの対策を講じて頂きたいとのこと。



【来年度に向けて】願う園児の姿・今後の改善策・来年度の園経営重点など

○来年度も未満児クラスがあり、2クラス確保できるはずなので活動を工夫していきたい。地域と交流できる場が少ないので、出向くことや園内へ出向いてもらう行事や機会を設けていけると良い。

○他園との交流は、子どもの遊び面だけでなく生活面でも刺激になっている。本園の生活を大切にしながら、引き続き来年度も行っていけると良い。

●小学校とは、行事での交流はたくさん行っているが、休み時間交流は昨年度より少なかった。担任同士の交流などを大切にしながら、負担にならないように交流し子どもの良い刺激につなげていきたい。

●飯地町に住んでいるが、町外の園へ通園している子も多い。保護者の就労の関係もあるが、飯地町で子育てがしたいと思ってもらえるようなPRをしていけると良い。

●豊かな自然があるものの、生かし切れていない。野遊びや散歩に出かける事や、足腰を鍛えられるような計画をし、職員も飯地の自然を楽しめる方法を探っていけると良い。

《令和5年度 恵那市こども園保護者 岩村こども園 集計結果》

4: とても思う
 3: ややそう思う
 2: あまり思わない
 1: まったく思わない
 0: 無回答・その他

1 園経営等について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	園は、教育目標や教育・保育内容がよくわかるように情報提供をしている。	3.8	77.9% 19.8% 2.3%
2	園の施設・設備は整備され、子どもが生活しやすい環境になっている。	3.7	68.6% 31.4%

2 教育及び保育について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	お子さんは、毎日園に行くことを楽しみにしている。	3.5	59.3% 34.9% 4.7% 1.2%
2	お子さんは、園の生活を通して成長している。	3.9	87.2% 11.6% 1.2%
3	園は、一人一人の子どもをよく理解し、誠実に対応している。	3.7	75.6% 22.1% 2.3%
4	お子さんの気持ちや様子、子育てなどについて園等と情報交換したり、相談したりできる。	3.6	68.6% 25.6% 3.5% 2.3%
5	園は、「あいさつ」をかわす心地よさと大切さを意識している。	3.9	86.0% 14.0%
6	園は、絵本を中心に、読み聞かせ等「読書活動」が充実している。	3.8	79.1% 20.9%
7	園は、ALTと一緒に、楽しみながら「英語に親しむ活動」を行っている。	3.6	66.3% 31.4% 2.3%
8	園は、子ども達の発達に即した日常の教育・保育で「特色ある教育・保育」を行っている。	3.7	68.6% 29.1% 2.3%

3 地域等との連携について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	園は、園だよりキッズビュー、ホームページ等を通し、園の情報を適宜提供している。	3.6	65.1% 31.4% 3.5%
2	園は、地域・小学校と連携し教育・保育を進めている。	3.6	65.1% 30.2% 4.7%

4 こども園制度について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	園児の登園・降園を確実に把握するために、ICTによるシステムを導入したことは望ましい。	3.7	73.8% 25.0% 1.2%

※端数の関係で合計が100%にならない場合があります。

【園経営等について】

- 子どもたちが怪我や事故のないように滑り台を新しくしたり、園庭周りに簡易の策を付けたりして子どもたちが安全に過ごせるようにした。
- 保護者からの提案を受け、駐車場にミラーを設置することで事故防止を行う。
- これ迄と同じように園全体の事は、園だよりで目標など分かりやすくし伝えていくとよい。
- 園の目指す方向を職員全員で一致しておくといよい。

【環境を通して行う教育及び保育について】園児の姿・保育教諭の指導・自己評価から

- 日々職員も元気良く挨拶する事を心がけるていことで、子どもたちの挨拶が自然とできる様になった。お客さんが来た時などしっかりと挨拶できる。
- 行事ごとに紙芝居や絵本などを取り入れることで、興味を持って子どもたちが取り組む事ができた。
- 心を育てる絵本の取り組み方法を考え直すとよい。
- 英語活動は、回数は増えているが保護者には伝わっていない。英語を覚えるのではなく親しむ事の大切さや活動したことなどを、通信やホームページを利用して伝える。

【連携について】

- 地域の方と連携を取り、芋の苗付けに芋掘りやザリガニ釣り、老人介護施設のくわのみに大根抜きや施設利用者の方との交流を行ってもらい、地域の方と交流できてよかった。
- 行事もコロナ禍と思うと沢山できるようになり、祖父母参観・運動会の人数制限解除等行い祖父母の方とも交流ができ、子どもたちの日常を見てもらう事が出来た。
- ほっといわむらやホームページ、園だより等を通して園の子どもたちの様子を地域の方に伝える事ができた。
- ホームページの更新が少ないので更新回数を増やし、園の様子をもっと伝えていけるといい。

【保護者アンケートより】

- 保護者の中には、保育士に対して感謝や労いの言葉等書いてくださった方が多く園全体で保護者が安心して預けられる雰囲気づくりを大切に続けていきたい。
- 子どもが登降園時に道路に飛び出す姿が見られる。という意見を頂いたので普段の散歩中や交通安全教室、紙芝居等を利用して、交通指導を徹底し、事故が起きないように努めていく。保護者にも呼びかけを行っていく。



【来年度に向けて】願う園児の姿・今後の改善策・来年度の園経営重点など

- ・朝遊びやすいすい遊ぼうデーの充実・継続をすると共に、異年齢での交流もできる様内容をしっかりと話し合い、ねらいを持って進めていく。
- ・職員の質の向上を行うため、学習会などの導入を行えると良い。
- ・「遊びは学び!」という保育理念を再度認識し合い、一致団結して保育を行っていく。
- ・あんじゃない、やってみようの気持ちを大事にしていく。
- ・ラジオ体操、スキップを行い健康な体作りを行っていく。

《令和5年度 恵那市こども園保護者 山岡こども園 集計結果》

4:とても思う
 3:やや思う
 2:あまり思わない
 1:まったく思わない
 0:無回答・その他

1 園経営等について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	園は、教育目標や教育・保育内容がよくわかるように情報提供をしている。	3.7	72.9% 27.1%
2	園の施設・設備は整備され、子どもが生活しやすい環境になっている。	3.7	70.8% 29.2%

2 教育及び保育について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	お子さんは、毎日園に行くことを楽しみにしている。	3.7	75.0% 20.8% 4.2%
2	お子さんは、園の生活を通して成長している。	3.9	93.8% 6.3%
3	園は、一人一人の子どもをよく理解し、誠実に対応している。	3.7	68.8% 31.3%
4	お子さんの気持ちや様子、子育てなどについて園等と情報交換したり、相談したりできる。	3.6	62.5% 35.4% 2.1%
5	園は、「あいさつ」をかわす心地よさと大切さを意識している。	3.6	62.5% 37.5%
6	園は、絵本を中心に、読み聞かせ等「読書活動」が充実している。	3.7	66.7% 33.3%
7	園は、ALTと一緒に、楽しみながら「英語に親しむ活動」を行っている。	3.7	72.9% 27.1%
8	園は、子ども達の発達に即した日常の教育・保育で「特色ある教育・保育」を行っている。	3.7	66.7% 33.3%

3 地域等との連携について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	園は、園だよりやキッズビュー、ホームページ等を通し、園の情報を適宜提供している。	3.8	81.3% 18.8%
2	園は、地域・小学校と連携し教育・保育を進めている。	3.5	54.2% 45.8%

4 令和5年度より導入した機能について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	園児の登園・降園を確実に把握するために、ICTによるシステムを導入したことは望ましい。	3.7	70.8% 27.1% 2.1%

(山岡こども) 園 ○成果 ●課題

【園経営等について】

○特色のある園活動については、職員会や園内研修で話し合うことで、共通理解を図った。また、保護者には、通信やホームページで地域との関りや食育活動を伝えていくことが出来た。命の授業や木育を積極的に取り入れ保護者に理解を得られた。

●広い園庭を活用しての環境設定が十分に出来なかった。保育室でもコーナー遊びの充実が図れるように今後も多方面において自己研鑽していく。

【環境を通して行う教育及び保育について】園児の姿・保育教諭の指導・自己評価から

○自然豊かな環境を活かし、散歩に出かけた。またそれをお散歩マップとして作成することで、振り返りを行うことが出来た。

○散歩等で出会った生き物を制作活動に取り入れ、友達と共同作業をしたことで人間関係が育った。

○支援児の発達の特性を理解できるよう、本などの情報を活用し、関係職員との話し合いを共通理解する事で、より良い支援が出来るよう努力した。

○パット入力する方法になり、誤字脱字が減った。

●バス登園児が多い為、園児の様子などをキッズビュー等で配信していく必要がある。

【連携について】

○地域の方々と草取りの関りや地域のお祭りに参加することで交流することが出来た。感謝の気持ちを手紙にしたため届けることで、こども達にも感謝の気持ちが育った。

●年度初めに小学校との連携が弱く、行事がだぶり保護者にご迷惑をかけてしまった。連携を密にし、今後は気を付けていきたい。

【保護者アンケートより】

○丁寧に保育していることに感謝を示す意見が多かった。職員との信頼関係が築けていると感じている。

○新たな行事を肯定的に捉え、行なうことで子どもの成長を共に喜んでいた。

●要望事項は、吟味し改善できる限り行なう。



【来年度に向けて】願う園児の姿・今後の改善策・来年度の園経営重点など

願う園児の姿・・・園目標「明るく元気にやる気をもって、みんなとなかよく遊ぶ子」

・異年齢活動が行えるようになってきた。しかし、園全体での異年齢活動は職員が丁寧にかかわることが難しい為、少人数での縦割りの関りから始めていく。その中で集団遊びの伝承も行えると良い。

・心穏やかなやさしい気持ちの子が多い。自分の思いを表現することに自信がないので、引き続きクラスの時間で自分の気持ちを表出できる時間を作っていく。(人権習慣を位置付ける)

・命の授業、木育教室も引き続き行う、その中でその場限りのイベントにならない様に保育の振り返りをし、職員の質を高めたい。

・地域や、小学校に園への情報を発信し良好な関係が築ける様にする。

「令和5年度 恵那市こども園保護者 明智こども園 集計結果」

4:とてもそう思う
 3:ややそう思う
 2:あまり思わない
 1:まったく思わない
 0:無回答・その他

1 園経営等について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	園は、教育目標や教育・保育内容がよくわかるように情報提供をしている。	3.6	
2	園の施設・設備は整備され、子どもが生活しやすい環境になっている。	3.7	

2 教育及び保育について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	お子さんは、毎日園に行くことを楽しみにしている。	3.6	
2	お子さんは、園の生活を通して成長している。	3.9	
3	園は、一人一人の子どもをよく理解し、誠実に対応している。	3.6	
4	お子さんの気持ちや様子、子育てなどについて園等と情報交換したり、相談したりできる。	3.6	
5	園は、「あいさつ」をかわす心地よさと大切さを意識している。	3.6	
6	園は、絵本を中心に、読み聞かせ等「読書活動」が充実している。	3.5	
7	園は、ALTと一緒に、楽しみながら「英語に親しむ活動」を行っている。	3.6	
8	園は、子ども達の発達に即した日常の教育・保育で「特色ある教育・保育」を行っている。	3.5	

3 地域等との連携について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	園は、園だよりやキッズビュー、ホームページ等を通し、園の情報を適宜提供している。	3.5	
2	園は、地域・小学校と連携し教育・保育を進めている。	3.4	

4 令和5年度より導入した機能について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	園児の登園・降園を確実に把握するために、ICTによるシステムを導入したことは望ましい。	3.4	

※端数の関係で合計が100%にならない場合があります。

【園経営等について】

- 通信や送迎時などに保育内容や職員の思い、子ども達の成長について知らせた。
- 環境整備面では、保護者の協力も得て園庭整備などの工事が完了し、子ども達も生活しやすくなった。特に園庭の水はけが良くなったことで戸外活動が増え、子ども達の運動発達面に大きく関わると感じる。
- 引き続き、園内外の安全管理に努める。

【環境を通して行う教育及び保育について】園児の姿・保育教諭の指導・自己評価から

- 園外保育にて川遊びや木の実拾いなど自然に触れた活動や戸外での絵画あそびなどから、子ども達が普段とは違う姿が見られ、遊びも広がった。支援児も開放的な遊びから活動に参加できることもあった。
- 主体的な遊びや体験的な活動への環境構成や指導の工夫など職員間で高めていきたい。

【連携について】

- 小学校と園の参観や申し送りにより支援児を重点に年長児や卒園児の情報交換ができた。
- 生活習慣やふれあい等家庭でチャレンジを取り組んでもらい、保護者や子ども達の意識につながった。
- 小学校や地域との関わりをもち、園児や園生活に関心をもってもらう。
- 挨拶や生活習慣など園での様子を伝え、チャレンジなど継続し意識してもらう。

【保護者アンケートより】

- 子どもが園生活を楽しんでいる姿や保育者の対応について感謝の声を頂いた。
- 今年度は園庭整備やオーニング設置など多くの整備に感謝の声を頂いた。
- ICT導入について引き続き理解と協力を得ていく。



【来年度に向けて】願う園児の姿・今後の改善策・来年度の園経営重点など

願う姿

- ・友達や保育者と関わりながら体を動かし、意欲的に遊ぶ。
- ・自分の思いを安心して表現し言葉で伝えようとする。
- ・自然にふれ、面白さや不思議さを見つたり命の大切さを知ったりする。

今後

- ・園外保育や運動遊びなど時期や内容を話し合い計画的に活動する。
- ・意図的に異年齢での活動を行い、関わりを広げたり深めたりする。
- ・保護者に園が意図して活動している様子を伝えていく。

《令和5年度 恵那市こども園保護者 串原こども園 集計結果》

4: とてもそう思う
 3: ややそう思う
 2: あまり思わない
 1: まったく思わない
 0: 無回答・その他

1 園経営等について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	園は、教育目標や教育・保育内容がよくわかるように情報提供をしている。	3.9	85.7% 14.3%
2	園の施設・設備は整備され、子どもが生活しやすい環境になっている。	4.0	100.0%

2 教育及び保育について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	お子さんは、毎日園に行くことを楽しみにしている。	3.3	42.9% 42.9% 14.3%
2	お子さんは、園の生活を通して成長している。	3.9	85.7% 14.3%
3	園は、一人一人の子どもをよく理解し、誠実に対応している。	3.9	85.7% 14.3%
4	お子さんの気持ちや様子、子育てなどについて園等と情報交換したり、相談したりできる。	3.7	71.4% 28.6%
5	園は、「あいさつ」をかわす心地よさと大切さを意識している。	3.9	85.7% 14.3%
6	園は、絵本を中心に、読み聞かせ等「読書活動」が充実している。	3.7	71.4% 28.6%
7	園は、ALTと一緒に、楽しみながら「英語に親しむ活動」を行っている。	3.9	85.7% 14.3%
8	園は、子ども達の発達に即した日常の教育・保育で「特色ある教育・保育」を行っている。	3.9	85.7% 14.3%

3 地域等との連携について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	園は、園だよりキッズビュー、ホームページ等を通し、園の情報を適宜提供している。	3.9	85.7% 14.3%
2	園は、地域・小学校と連携し教育・保育を進めている。	3.9	85.7% 14.3%

4 令和5年度より導入した機能について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	園児の登園・降園を確実に把握するために、ICTによるシステムを導入したことは望ましい。	3.4	42.9% 57.1%

【園経営等について】

- 少ない職員数ではあるが、それぞれの職務以外にも意識を向け、職員全体で園舎整備や環境構成の充実、安全面への配慮を行うことができた。
- 新遊具設置に伴い、地域の方の力もお借りしながら園庭整備を行い、屋外遊びの充実を図ることが出来た。
- 異年齢混合保育、1対1の未満児保育の中で、指導の工夫や改善に苦慮する姿が見られた。少人数だからこそ育っている面、育ちをサポートする面を明確にして指導に当たれるように自己研鑽が必要である。

【環境を通して行う教育及び保育について】園児の姿・保育教諭の指導・自己評価から

- 読書活動では1日3冊の読み聞かせが定着し、絵本の世界観や登場人物への共感、絵本への興味関心を広げることができた。
- 積極的に園外の人との関わりを増やしたことで、地域の方やお世話になっている人にも自発的に話かけたり、挨拶をしようとする姿が増えた。
- 「特色ある園活動」や「遊びの指導」では、毎年職員の入れ替わりがあり、継続的に育ちを見ること、園内研究の深化に難しさや課題を感じる。「特色ある園活動」の内容を見直しすることも必要か考える。

【連携について】

- 地域の方を招いての行事や、年末の「ありがとうカレンダー」配り、地域の方との野菜作りを通して園に関心を寄せていただき、温かい支援を受けたり園児と地域との交流が深まったりした。
- 小学校との連携では、低学年児童とのあそび交流、劇あそびへの招待を計画して行っただが、あそび交流が当初予定回数より少なかったため、計画的に行えるよう小学校の先生との連携も必要であった。

【保護者アンケートより】

- おおむね好意的な意見が多く、職員の労働時間や業務内容を気遣う意見も見られ、信頼関係が築けていると考えている。
- 代替職員に対して、トラブルの際の対応をもう少し丁寧をお願いしたいとの意見があった。無意識にかけた言葉が保護者に伝わることもあるため、職員間で共有理解を図りたい。



【来年度に向けて】願う園児の姿・今後の改善策・来年度の園経営重点など

- ・年齢が上がるにつれて、丁寧なかかわりを必要とする年中女児の姿が見られるようになってきた。少人数の中で注意を促さざるを得ない行動が目立つようになっている。周囲の友だちもその姿を子どもなりに理解し、声をかけたり助け合えたりするような人間関係の構築を心掛ける。
- ・園児数が極端に減り、更に人との関わり方が重要になってくる。地域・小学校・他園との交流を計画的・継続的に持ち、自己発揮ができるように促していく。
- ・園児だけでなく、職員も地域や外部の援助を必要とする場面が多い。積極的に外部へ園の情報を発信したり、地域行事への参加等を通して日頃から関係を良好に保てるように心がける。

《令和5年度 恵那市こども園保護者 上矢作こども園 集計結果》

4: とても思う
 3: やや思う
 2: あまり思わない
 1: まったく思わない
 0: 無回答・その他

1 園経営等について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	園は、教育目標や教育・保育内容がよくわかるように情報提供をしている。	3.7	69.2% 30.8%
2	園の施設・設備は整備され、子どもが生活しやすい環境になっている。	3.8	76.9% 23.1%

2 教育及び保育について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	お子さんは、毎日園に行くことを楽しみにしている。	3.5	46.2% 53.8%
2	お子さんは、園の生活を通して成長している。	3.9	84.6% 15.4%
3	園は、一人一人の子どもをよく理解し、誠実に対応している。	3.7	69.2% 30.8%
4	お子さんの気持ちや様子、子育てなどについて園等と情報交換したり、相談したりできる。	3.5	53.8% 38.5% 7.7%
5	園は、「あいさつ」をかわす心地よさと大切さを意識している。	3.5	61.5% 30.8% 7.7%
6	園は、絵本を中心に、読み聞かせ等「読書活動」が充実している。	3.8	76.9% 23.1%
7	園は、ALTと一緒に、楽しみながら「英語に親しむ活動」を行っている。	3.7	75.0% 16.7% 8.3%
8	園は、子ども達の発達に即した日常の教育・保育で「特色ある教育・保育」を行っている。	3.5	53.8% 46.2%

3 地域等との連携について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	園は、園だよりやキッズビュー、ホームページ等を通し、園の情報を適宜提供している。	3.8	76.9% 23.1%
2	園は、地域・小学校と連携し教育・保育を進めている。	3.5	61.5% 30.8% 7.7%

4 令和5年度より導入した機能について

No.	評価の観点	評価平均	評価
1	園児の登園・降園を確実に把握するために、ICTによるシステムを導入したことは望ましい。	3.2	46.2% 38.5% 7.7% 7.7%

【園経営等について】

- 各種通信やホームページ、登降園での会話や連絡帳により、園での情報共有をしてきたことで、園の方針に理解を示し協力的である。保護者会との連携も取れているので、行事等でも協力的で助かっている。
- 施設の安全管理については、職員も高い意識を持って、点検や日々の安全な保育に努めている。

【環境を通して行う教育及び保育について】園児の姿・保育教諭の指導・自己評価から

- 子どもが楽しく園に通っている姿から、園での生活に対して感謝の言葉を沢山いただけている。
- 園児数が減少傾向にあるが、少人数だからこそできる個々に合わせた保育が保護者に評価をいただけている。異年齢保育を行う中で、お互いを思いやるような気持ちが持てるようになってきていると感じる。
- 地域の老人福祉施設に隔月に行って交流をしたり、芋ほりや川遊びなどの行事を通して地域の方々との関わりを持ったりすることで、いろいろな人との関わる楽しさを経験することが出来た。
- 地域との交流の中で、相手の名前をなかなか憶えられていないので、お互いの名前が呼び合えるような関係になれると良い。

【連携について】

- 保護者と気軽に話し合える雰囲気が出来ているので、行事内容についても一緒に考えて計画することが出来た。
- 毎月、地域の関係機関と情報交流が出来る「5長会」がある為、情報交換をすると共に、上矢作町での問題について(少子化等)一緒に考える事が出来ている。
- 小学校との連携については、学校の家庭学習習慣に合わせて、園でも親子触れ合い週間として取り組めた。

【保護者アンケートより】

- 園での様子を園だよりだけでなく、ホームページにも載せている為、親以外の祖父母も見ることが出来て好評である。
- 親子行事は増えたが、クラス懇談会や個別懇談会が無かったので、親同士の交流の場があると良かった。
- 登降園のICT化については、慣れてしまえば当たり前のようになれるようになったという意見の他に、機械に頼りすぎると思いもよらない事故やミスにつながるのでは、という意見もあった。



【来年度に向けて】願う園児の姿・今後の改善策・来年度の園経営重点など

- ・ICTについては、その機能に頼るだけでなく、保護者との関わりを引き続き行っていく。
- ・保育参観、懇談会は、保護者の仕事の都合もある為、差し支えない程度で実施していく。
- ・保護者とのコミュニケーションを大切に、登降園時や連絡帳にて子どもの変化や成長などを積極的に伝えていく。特に、バス通園の保護者とは会う機会が少ないので、連絡帳や懇談会で園での様子を知らせていく。
- ・運動遊びや触れ合い遊びが今後も実践できるように、保育計画を綿密に立てて行っていく。
- ・少人数の為、異年齢保育が今後も続くが、年齢に合った援助や保育内容を大切にしながら、保育を行っていく。
- ・自園だけでなく、来年度も他園との交流を計画し、いろいろな人との関わりが楽しめるようにする。